

令和5年度
（2023年度）

事務概要書

吹田市保健所

目 次

第 1	沿革	1
第 2	市の概要	2
第 3	主たる事務所の付近見取り図	4
第 4	敷地及び庁舎・施設平面図	5
第 5	組織表	6
第 6	現員表	7
第 7	事務分掌	9
第 8	主要事業の概要	11
第 9	活動の指標	27

【保健医療総務室 事務概要】

1	医事関係事務	29
2	薬事関係事務	31
3	医療相談	33
4	医療機関の立入検査及び実地指導等	33
5	薬事関係立入検査	34
6	薬事関連啓発事業	34
7	その他薬事関連業務	35
8	保健所運営協議会	35
9	大阪府医療計画推進に係る会議	36
10	吹田市衛生検査所精度管理専門委員連絡会議	40
11	吹田市医療審議会	41
12	吹田市地域医療推進懇談会	41
13	吹田市医療に関する市民アンケート調査	42
14	吹田市地域医療推進市民講演会	43
15	豊能二次医療圏救急医療対策事業	43
16	地域のネットワーク会議等	43
17	健康危機管理に対する取組	44
18	統計事務	47
19	保健所業務の総合調整	47
20	施設設備の管理及び整備	48
21	保健衛生関係の表彰	48
22	厚生労働統計関係の表彰	48
23	研修及び実習指導関係	48

【衛生管理課 事務概要】

1	食品衛生	50
2	環境衛生	59
3	狂犬病予防・動物愛護管理	64

【地域保健課 事務概要】

1	結核予防	67
2	感染症予防	71
3	性感染症予防	72
4	生活習慣病予防	73
5	精神保健	74
6	難病対策	79
7	放射線業務	81
8	予防接種	84

第1 沿革

【吹田市保健所】	令和2年（2020年）4月1日～
令和2年4月1日 (2020年)	吹田市の中核市移行に伴い、保健所が大阪府から吹田市に移管され、吹田市保健所を開設した。
	保健所組織は、保健医療室、衛生管理課、地域保健課と隣接する保健センターで構成。
令和3年2月15日 (2021年)	健康まちづくり室の事務室を総合福祉会館5階に移転。
令和4年4月1日 (2022年)	組織改正により、保健所組織が、保健医療総務室(名称変更)、衛生管理課、地域保健課の3室課構成となる。
令和6年3月18日 (2024年)	総合福祉会館内の健康まちづくり室の事務室を保健所に移転。
令和6年4月1日 (2024年)	総合福祉会館内の地域保健課の事務室を保健所に移転し、保健所組織は、保健所内に集約した。

《参考》

【大阪府吹田保健所】 昭和19年（1944年）10月～令和2年（2020年）3月31日

第2 市の概要

吹田市は、北は箕面市、茨木市に、東は摂津市に、南は大阪市に、西は豊中市に接しており、その面積は36.09km²、府面積の約2%を占めている。管内人口は381,238人、世帯数は182,636世帯(令和5年(2022年)3月31日現在)である。

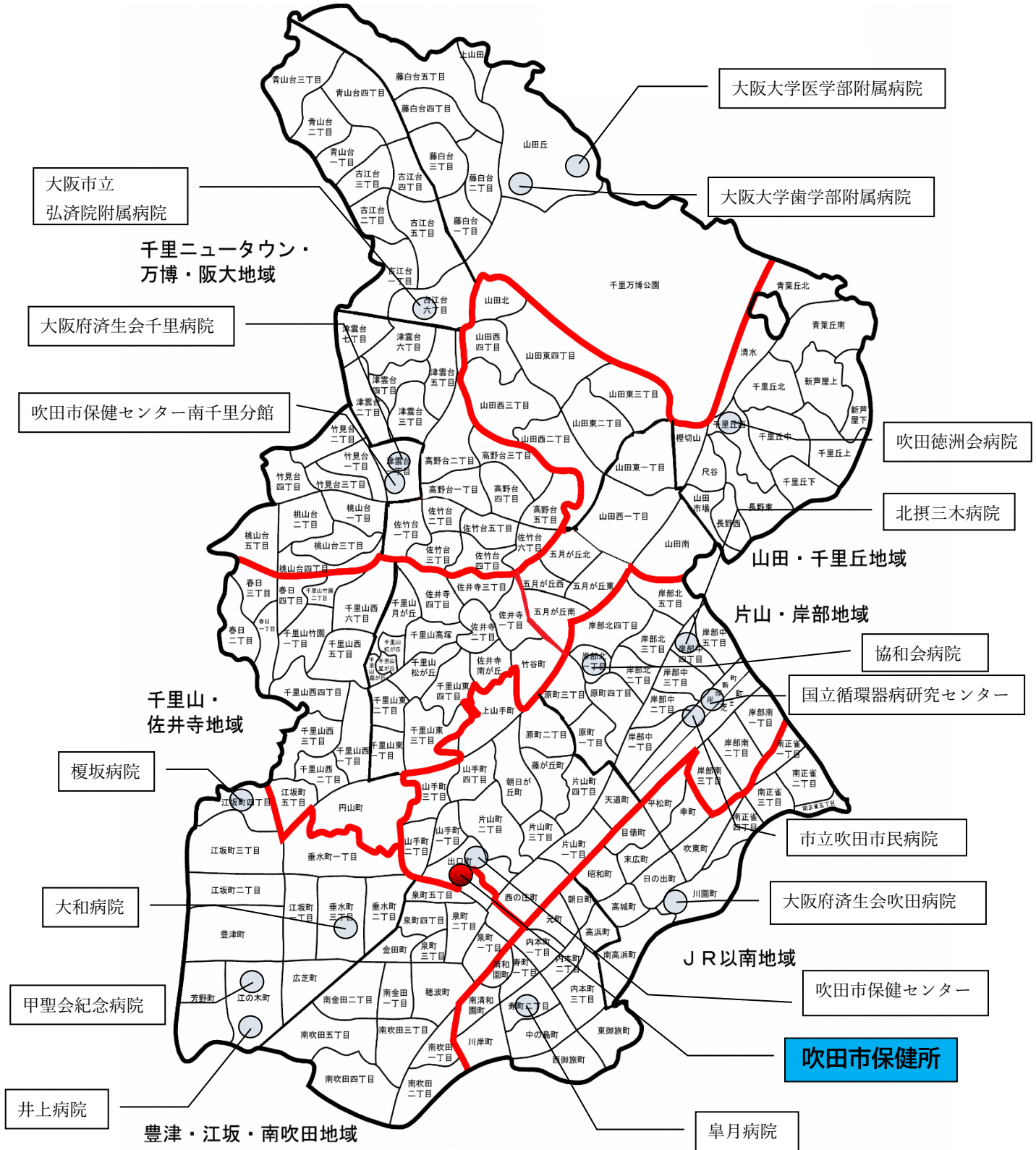
市の地理的環境は、古くから鉄道に沿って発達した中小事業所が多い南部地域、大阪市内に通勤するサラリーマンのベッドタウンとして整備された日本初の大規模団地である千里ニュータウンのある北西部地域、大阪の副都心として開発の続く地下鉄江坂駅を中心とした西部地域、田園都市から住宅産業都市へと変貌し、さらに企業進出が目ざましい東部地域から構成されている。

平成26年(2014年)5月、「健康・医療のまちづくり」基本方針を定め、JR 岸辺駅前の吹田操車場跡地に移転した国立循環器病研究センターと市立吹田市民病院を中心に、循環器病についての予防医療や健康づくりの推進、市民参加型の循環器病予防の取組のモデル創成など、世界をリードする健康医療都市を目指している。

また、近年、千里ニュータウン、JR 以南地域をはじめとする市内の各地域で急速に進んでいる高齢化問題に対応していくため、健康づくりや健康寿命延伸の取組に力を入れている。

さらに、令和元年(2019年)8月7日、保健衛生、環境等の幅広い分野の事務権限を持ち、市民の命と豊かな暮らしを支えるための取組を一層推進するため、総務大臣に中核市指定(政令)の申出を行い、同年11月13日、地方自治法第252条の22の規定に基づき中核市の指定に関する政令が公布された。これにより令和2年(2020年)4月1日より、中核市となり吹田市保健所を開設した。

管内略図



第3 主たる事務所の付近見取り図

所在地:吹田市出口町 19 番3号

電話番号:保健医療総務室 06(6339)2225

衛生管理課 06(6339)2226

地域保健課 06(6339)2227

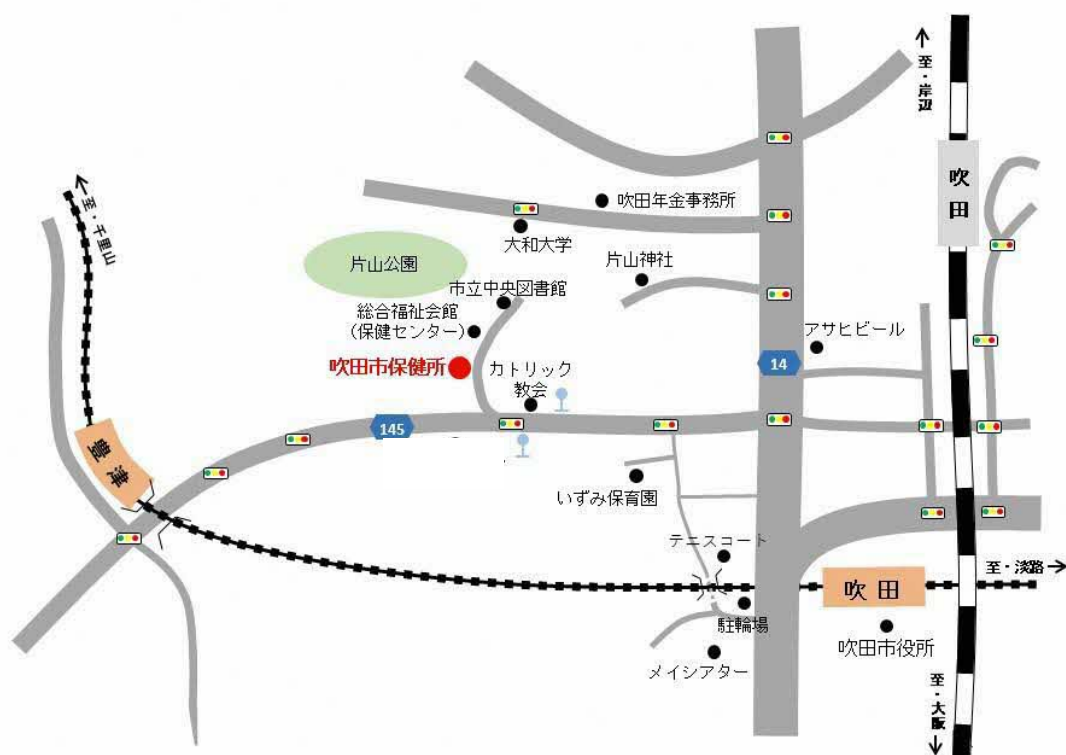
06(4860)6151 予防接種担当

ファックス:全室課共通 06(6339)2058

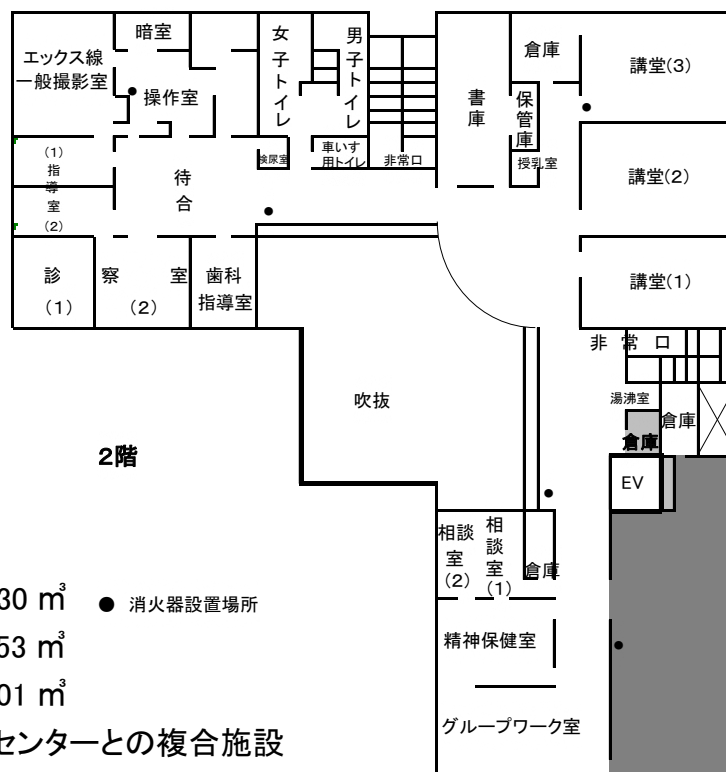
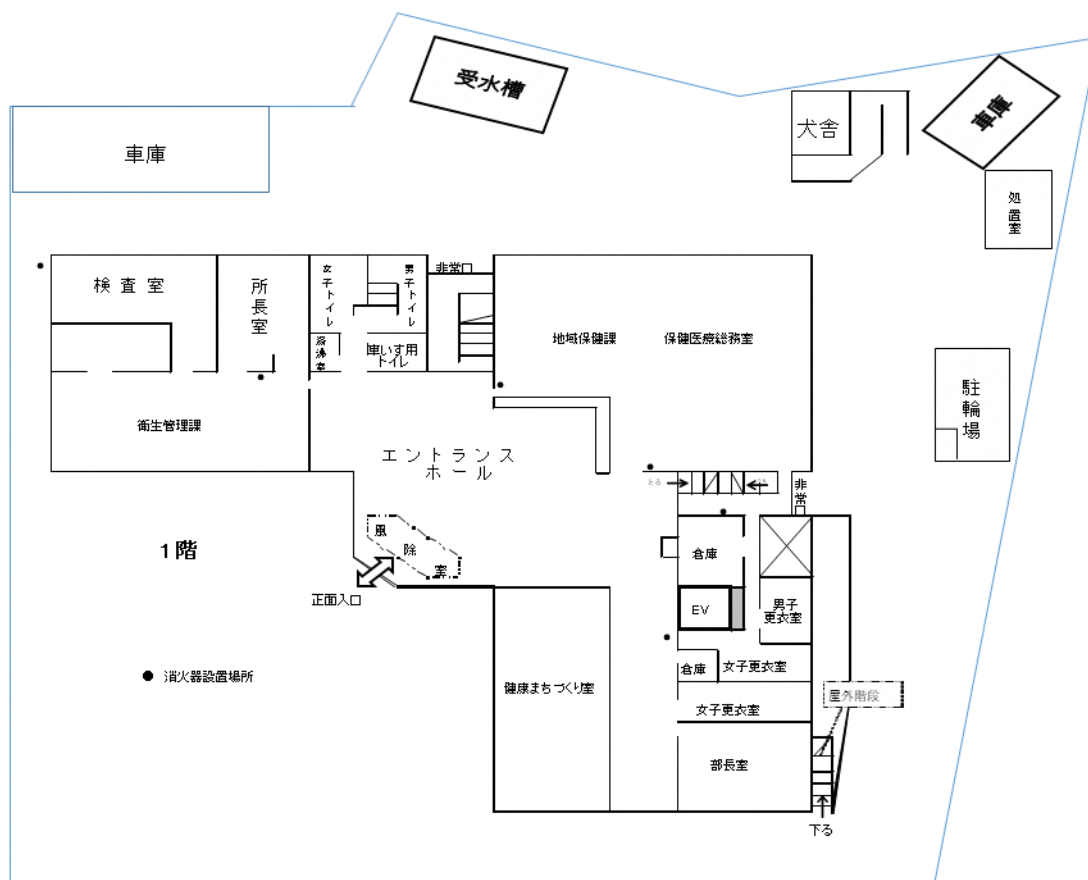
阪急電鉄千里線 吹田駅から徒歩約8分

阪急電鉄千里線 豊津駅から徒歩約8分

JR 京都線 吹田駅から徒歩約 15 分



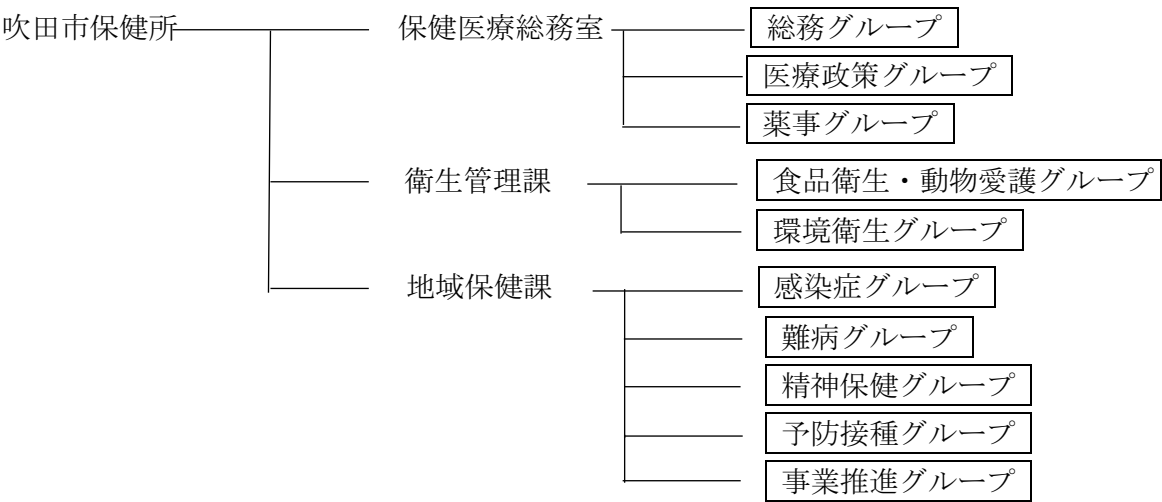
第4 敷地及び庁舎・施設平面図



建築面積(本館) 1,115.30 m³ ● 消火器設置場所
 延面積(本館) 2,933.53 m³
 敷地面積 3,000.01 m³
 大阪府吹田子ども家庭センターとの複合施設

第 5 組織表

令和 6 年（2024年） 4 月 1 日現在



第 6 現員表

令和 6 年（2024 年） 4 月 1 日現在
（ ）内は大阪府職員数：内数

【職種別内訳】

室課名等	職別	職種	人数	
保健所全体	常勤職員	事務	2 3 名	(0 名)
		医師	2 名	(1 名)
		保健師	2 1 名	(0 名)
		精神保健福祉士	3 名	(0 名)
		診療放射線技師	1 名	(0 名)
		獣医師	6 名	(1 名)
		化学職	1 名	(0 名)
		薬剤師	9 名	(3 名)
		自動車運転手	1 名	(0 名)
		小計	6 7 名	(5 名)
	会計年度職員	事務補助	1 4 名	
		保健師	1 名	
		看護師	6 名	
		獣医師	1 名	
		薬剤師	1 名	
		小計	2 3 名	
	計		9 0 名	(5 名)

保健所長	常勤職員	医師	1 名	(1 名)
保健医療総務室	常勤職員	事務	9 名	(0 名)
		保健師	4 名	(0 名)
		薬剤師	4 名	(1 名)
		小計	1 7 名	(1 名)
	会計年度職員	事務補助	1 名	
		看護師	1 名	
		小計	2 名	
	計		2 0 名	(1 名)

衛生管理課	常勤職員	事務	4 名	(0 名)
		獣医師	6 名	(1 名)
		薬剤師	5 名	(2 名)
		化学職	1 名	(0 名)
		自動車運転手	1 名	(0 名)
		小計	1 7 名	(3 名)
	会計年度職員	事務補助	3 名	
		獣医師	1 名	
		薬剤師	1 名	
		小計	5 名	
	計		2 2 名	(3 名)

地域保健課	常勤職員	事務	1 0 名	(0 名)
		医師	1 名	(0 名)
		保健師	1 7 名	(0 名)
		精神保健福祉士	3 名	(0 名)
		診療放射線技師	1 名	(0 名)
		小計	3 2 名	(0 名)
	会計年度職員	事務補助	1 0 名	
		保健師	1 名	
		看護師	5 名	
		小計	1 6 名	
計		4 8 名	(0 名)	

【役職別内訳】

室課名等	職別	役職	人数	
保健所全体	常勤職員	部長級	1名	(1名)
		次長級	2名	(0名)
		課長級	7名	(3名)
		課長代理級	13名	(1名)
		主査	12名	(0名)
		主任・係員	32名	(0名)
		計	67名	(5名)
保健所長	常勤職員	部長級	1名	(1名)
保健医療総務室	常勤職員	次長級	1名	(0名)
		課長級	3名	(1名)
		課長代理級	3名	(0名)
		主査	2名	(0名)
		主任・係員	8名	(0名)
		小計	17名	(1名)
衛生管理課	常勤職員	課長級	2名	(2名)
		課長代理級	4名	(1名)
		主査	4名	(0名)
		主任・係員	7名	(0名)
		小計	17名	(3名)
地域保健課	常勤職員	次長級	1名	(0名)
		課長級	2名	(0名)
		課長代理級	6名	(0名)
		主査	6名	(0名)
		主任・係員	17名	(0名)
		小計	32名	(0名)

※1 常勤職員は産休・育休・病休者を含む

※2 会計年度任用職員は※1の代替職員を除く

※3 保健医療総務室長（所属：健康まちづくり室）を含む

第7 事務分掌

1 保健医療総務室

- (1) 医事及び薬事に関する事項
- (2) 保健衛生に係る調査及び統計に関する事項
- (3) 保健医療団体との連絡に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (4) 地域医療に係る施策の企画、調整及び推進に関する事項
- (5) 健康危機管理に関する事項
- (6) 保健師の保健活動の総合調整及び推進に関する事項
- (7) 保健所運営協議会に関する事項
- (8) 医療審議会に関する事項
- (9) 保健所庁舎の管理に関する事項
- (10) 保健所内の総合調整及び庶務に関する事項

2 衛生管理課

- (1) 食品衛生に関する事項
- (2) 環境衛生に関する事項
- (3) 狂犬病の予防に関する事項
- (4) 動物の愛護及び管理に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (5) 衛生上の試験及び検査に関する事項
- (6) 専用水道及び簡易専用水道に関する事項
- (7) 飲用井戸等に係る指導に関する事項

3 地域保健課

- (1) 感染症の対策及び予防に関する事項
- (2) 予防接種に関する事項
- (3) 精神保健に関する事項(他の課等の所管するものを除く。)
- (4) 自殺対策に関する事項
- (5) 難病の支援に関する事項
- (6) 難病及び肝炎治療の医療費助成に関する事項

(7) 感染症診査協議会に関する事項

(8) 予防接種健康被害調査委員会に関する事項

第8 主要事業の概要

令和2年度(2020 年度)から中核市に移行し、これまで府保健所で行われてきた専門的・技術的拠点としての機能と、住民に身近な保健サービスの提供を一体的かつ効果的に展開し、総合的な保健サービスの提供を行うために、市保健所を設置した。

地域の公衆衛生の拠点施設として、きめ細やかな地域保健業務、医療の推進や公衆衛生の向上、また健康危機管理への迅速な対応等、地域の保健衛生の更なる推進のための業務に取り組んでいる。

1 保健所における新型コロナウイルス感染症業務

市保健所の設置直後から対応を迫られた新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という。)に対し、職員の増員や予算措置等の全庁的な支援を受け、保健所は一丸となり、3室課で役割分担し対応してきた。新型コロナの法的な扱いについて、令和5年(2023 年)5月8日から感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下「感染症法」という。)上の5類感染症に位置付けることが決定されたため、保健所業務の見直しを実施した。

5類感染症移行後の主な業務

(1) 発生動向

発生届等による全数把握は終了し、指定した医療機関が患者の発生について届出を行う定点把握へ移行した。週1回、市内定点医療機関からの報告を市保健所が集約し、大阪府感染症情報センターが1週間に診断した1医療機関当たりの平均患者数を、市ホームページで公表した。

(2) 相談体制

大阪府による自宅待機 SOS(コロナ陽性者 24 時間緊急サポートセンター)の終了に合わせ、本市の新型コロナ受診相談センターの開設時間をこれまでの全日 24 時間対応から平日午前9時～午後5時 30 分までの運用へ移行し、令和6年(2024 年)3月末に終了した。

<新型コロナ相談件数>

	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
相談件数(件)	24,288	28,909	34,172	3,082

(3) 積極的疫学調査

保健所によるプッシュ型の健康観察は終了。高齢者施設等からの集団発生報告については、必要に応じて行政検査や疫学調査を実施した。

<新型コロナ PCR 検査件数>

	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
PCR 検査実施件数(件)	37,366	150,682	250,692	10,854
陽性者数(人)	1,551	27,112	81,400	863

(4) 医療提供体制

5類感染症移行後について、幅広い医療機関で患者が受診できる医療体制に向けて、必要となる感染対策や準備を講じつつ段階的に移行を進める方針が示された(移行期間は令和6年3月末まで)。

外来医療については、大阪府が発熱患者の診療等を行う医療機関を「外来対応医療機関」として指定し、市ホームページに掲載した。

入院医療については、これまでの行政による入院措置・勧告はなくなったため、医療機関において入院が必要と判断された患者は、原則、医療機関間により調整を行うこととなった。移行期間においては、医療機関間での入院調整が困難な事例は、保健所が圏域内で調整を支援し、それでも調整がつかない場合は、府の「移行期入院フォローアップセンター」が広域で調整を支援する体制としたが、実際に保健所が入院を調整する事例はなかった。

< 新型コロナにおける入院勧告、就業制限等の状況 >

	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
入院勧告書(件)	354	1,316	4,727	25
就業制限通知書(件)	1,505	5,674	－	－
療養証明書(件) (※)	－	4,834	13,909	145

(※) 令和4年(2022 年)1月 31 日から、就業制限通知書の発行を終了。

同年2月9日から希望者に療養証明書を発行。

同年4月 27 日から新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(以下「HER-SYS」という。)内のMY HER-SYS(陽性者本人が行う健康管理機能)により療養証明書の取得が可能となったため、市ホームページやSMS(ショートメッセージサービス)にて利用促進を図った。

同年9月 26 日からの全数把握見直しに伴い、発生届の届出がなされている患者のうち希望者のみ発行又は、取得の対象となった。

令和5年(2023 年)8月 31 日に療養証明書の発行を終了。

(5) 高齢者施設等への対応

高齢者施設等は、国通知により施設内で 10 名以上の集団感染が発生した場合には保健所へ報告することになっており、その報告に基づき感染対策等の助言支援を行うとともに、必要に応じて感染管理認定看護師(ICN)による支援チームを派遣する等の対応を行った。

＜新型コロナに関する施設対応件数＞

①現地調査の件数

(件)

施設種別	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
高齢者施設	30	47	26	2
障がい者施設	7	7	2	2
医療機関	4	16	4	0
児童・教育施設	3	1	－	－
その他	5	2	－	－
合計	49	73	32	4

②電話調査の件数

(件)

	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
対応件数	－	1,334	618	124

＜市内クラスター発生状況＊＞

施設種別	令和2年度 (2020 年度)	令和3年度 (2021 年度)*	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
高齢者施設	7	36	145	36
障がい者施設	2	15	19	3
医療機関	1	18	53	21
児童・教育施設	4	36	2	0
その他	4	20	1	0
合計	18	125	220	60

＊1 1施設で5名以上の陽性者の発生があった場合をクラスターとし、調査を実施。令和4年(2022 年)1 月 29 日より保健所業務を重点化し、重症化リスクの高い施設(医療機関・高齢者施設・障がい者施設等)を優先的に対応したため、それ以外のクラスターは未把握。感染症法上の位置付け変更に伴い、令和5年(2023 年)5月8日以降は医療機関、高齢者入所施設、障がい者入所施設で 10 名以上陽性者が発生した施設のみ把握。

(6) 広報

5類感染症移行に伴う変更点について、市報やホームページ、市の公式SNS等を活用し、情報発信を積極的に行った。市内の医療機関や高齢者施設等については、国通知に基づき、保健所からの通知文書を発出するとともに説明会を開催した。

市ホームページの新型コロナ総合トップページについては、移行期間に伴い、段階的に縮小し、令和6年(2024 年)3月末をもって終了したが、新型コロナに関する情報は、感染症の情報の 1 つとして掲載している。

(7) 新型コロナ業務 令和5年度(2023 年度)対応経過

月	日	主な出来事	主な内容
4月	26日	市内医療機関向け説明会	新型コロナの感染症法上の位置付け変更に伴う市内医療機関向け説明会
5月	5日	WHO が国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHIC）を解除	
	8日	感染症法上の位置付け変更	5類感染症への移行にあたり市報及び市ホームページにて情報発信
	19日	高齢者施設等への新型コロナ5類移行に伴う説明会	5類移行に伴う保健所の対応について管内特別養護老人ホーム向け説明会
7月	14日	第1回吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議 第1回加算カンファレンス	・講義：「今夏に注意すべき輸入感染症について」 ・意見交換：「新型コロナウイルス感染症 5類移行後の状況について」
8月	31日	療養証明書の発行終了	
9月	16日	第2回加算カンファレンス	新型コロナウイルス感染症 5類移行後の状況について情報共有
	30日	移行期入院フォローアップセンターの終了	市内医療機関、市内高齢者福祉施設等へ変更に伴う通知文を送付
3月	31日	移行期間終了	市ホームページ新型コロナ総合トップページの閉鎖 新型コロナ受診相談センターの終了 市内医療機関、市内高齢者福祉施設等へ変更に伴う通知文を送付

2 感染症予防計画の策定

新型コロナへのこれまでの取組を踏まえ、令和4年(2022 年)12 月に感染症法が改正され、次の感染症危機に備え、平時からの備えを確実に推進するため、保健所設置市においても、令和6年(2024 年)3月までに感染症予防計画を策定することが義務づけられた。本計画では、国の基本的な指針や大阪府感染症予防計画に則して、新興感染症発生時の保健所の体制整備や検査体制の確保等、平時からの備えと有事の体制整備について具体的な数値目標を定めるととされた。そのため、本市計画の策定にあたっては、大阪府が担う項目である医療提供体制の整備や入院調整の一元化等は、府計画と連動させるとともに、有事に必要な保健所の人員体制やその確保等については、本市の実情や新型コロナ対応での課題を踏まえ、関係機関と調整のうえ、計画に反映させた。

3 健康危機対処計画(感染症編)の策定

地域保健法の改定に伴い、保健所において感染症危機発生時の速やかな有事体制への移行を盛り込んだ健康危機対処計画の策定が求められたことから、吹田市健康危機対処計画(感染症編)を策定した。

4 地域医療構想の推進

豊能圏域における病院連絡会を開催し、令和7年(2025年)に向けた今後の具体的な対応方針と新興感染症の協定締結等について共有を図った。

豊能医療・病床懇話会、豊能保健医療協議会では、第8次大阪医療計画の策定状況や新興感染症の協定締結の協議状況の共有を行うとともに、豊能圏域における地域医療構想の進捗状況と各病院の今後の方向性、また各病院の病院プラン等について協議された。

5 医療安全

(1) 医事

医療法やその他法令に基づき、市内の病院や診療所、施術所、助産所、歯科技工所に対する各種申請の受付や許可を行っている。

市内の医療機関に対しては、医療の安全や構造設備等に係る定期立入検査を実施し、助言や指導を行っている。

また、医療の安全と信頼を高め、市内の医療機関の患者サービスや質の向上を図るため、市民からの医療機関に対する相談や苦情に対応する医療相談窓口を開設している。

(2) 薬事

薬局、店舗販売業者、高度管理医療機器等販売業者及び毒物劇物販売業者等に係る許可・登録の申請及び届出等の審査を行うとともに、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法等関係法令の遵守の確認のため、立入検査を実施している。

また、市民や学校への啓発活動として、ポスター、リーフレットやクリアファイル等を活用し、薬物乱用防止や薬と健康に関する啓発を実施している。

衛生検査所に係る登録申請、変更届等の審査を行うとともに、臨床検査技師等に関する法律の遵守の確認のため立入検査を実施している。

6 健康危機管理・総合調整

(1) 感染症対策について

ア 新型コロナの感染症法上の位置付け変更への対応

令和5年(2023年)5月8日の新型コロナの感染症法上の位置付け変更に対して、同4月、管内医療機関を対象に、通常医療への円滑な移行に向けた医療提供体制の変更内容や、入院を要する患者像の共有、今後の入院調整等についての説明会を開催した。また、患者説明用リーフレットを作成し、市内病院の新型コロナ陽性者の入院等受入窓口の一覧と共に医療機関に周知をした。さらに、同5月に高齢者施設における入院調整の方法等をはじめとする対応の変更点を周知することを目的に、吹田地区特別養護老人ホーム連絡協議会と連携し、市内の特別養護老人ホームを対象とした説明会を開催した。

イ 院内感染対策における医療機関連携

院内感染対策に係る知識の情報交換を行うとともに、管内医療機関からの院内感染の予防等に関する相談や、改善策等の助言要請に応じることにより、その未然防止や早期解決、ひいては地域における医療の安全、医療レベルの向上に資することを目的に、吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議を、7月及び12月の計2回開催した。

令和4年(2022年)4月の診療報酬改定により、感染対策向上加算の見直しと外来感染対策向上加算が新設され、加算1病院等は保健所や医師会と連携し、年4回カンファレンスを実施することが求められたため、前記連絡会議と加算1病院主催のカンファレンスを同日開催することとなった。また別日で年2回開催される医師会及び加算1病院主催カンファレンスにも参加した。

さらに、新興感染症発生に備えて、発生時の関係機関連携、患者移送、医療資源の備蓄に関する医療機関向け動画を加算1病院、医師会、消防本部と共に作成した。

ウ 高齢者施設等への支援及び支援チームの派遣

管内病院の感染管理認定看護師(ICN)を講師に、高齢者入所施設や高齢・障がい者福祉サービス事業者を対象とした感染対策についての研修を、11月及び1月の計2回開催した。

管内医療機関や高齢者施設等で発生したクラスターに対して、管内医療機関の感染対策の専門家(感染制御医師(ICD)・ICN等)、保健所職員で構成する支援チームを派遣し、施設内ラウンド、感染対策の助言、研修を実施した。

(2) 災害対策について

大規模地震等発生時において大阪府が被災地となった際に、大阪府地域防災計画及び大阪府災害医療救護マニュアルに従い、各災害協力病院と関係機関が連携し、適切な対応ができるように、機器操作訓練、実働訓練を行った(災害拠点病院主催)。

また、令和6年(2024年)1月1日に発生した令和6年度能登半島地震に対して、大阪府災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)及び大阪府公衆衛生チーム(保健師等)の一員として本市職員を派遣した。

なお、能登半島地震の被災地支援に注力するため、吹田市一斉合同訓練の実働訓練については延期となり、机上訓練として想定被災状況下における情報共有方法や関係機関との連携について検討を行った。

<健康危機管理体制構築への取組>

令和3年度 (2021 年度)	・新型コロナウイルス感染症に関する調整会議を開催 ・吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議を開催(2回) ・高齢者施設への新型コロナウイルス感染症対策研修を実施(2回) ・吹田市保健所災害マニュアルの見直し ・吹田市保健所版アクションカードとレファレンスシートの見直し ・豊能圏域大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修に参加 ・福祉部職員への感染対策研修を実施 ・部内防災訓練
令和4年度 (2022 年度)	・新型コロナに関する調整会議を開催 ・吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議を開催(2回) ・高齢者施設への新型コロナ対策研修を実施(2回) ・医療機関対象の新型コロナ対策研修を実施(2回) ・感染対策向上加算等に関するカンファレンスへの参加(2回) ・吹田市保健所災害マニュアルの見直し ・吹田市保健所版アクションカードとレファレンスシートの見直し ・豊能圏域大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修に参加 ・部内防災訓練を実施 ・新型コロナ合同訓練を実施
令和5年度 (2023 年度)	・新型コロナ5類移行に関する管内医療機関向け説明会を開催 ・新型コロナ5類移行に関する高齢者施設向け説明会を開催 ・吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議を開催(2回) ・高齢者施設等への感染対策リーダー育成研修を実施(2回) ・感染対策向上加算等に関するカンファレンスへの参加(2回) ・新興感染症対応の医療機関向け動画を作成 ・吹田市保健所健康危機対処計画(感染症編)策定 ・吹田市保健所災害マニュアルの見直し ・吹田市保健所版アクションカードとレファレンスシートの見直し ・豊能圏域大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修に参加 ・令和6年能登半島地震被災地への職員派遣・所内報告会を実施

7 感染症対策

令和3年(2021 年)4月から新型コロナを専任で対応する体制をとっていたが、新型コロナの感染症法上の位置付け変更に伴い、令和5年(2023 年)4月からは感染症の1業務として扱う体制へ変更した。

結核、HIV等感染症対策については、患者の早期発見、早期治療に対する取組及び感染拡大防止に向けた予防活動を行った。

令和5年(2023 年)の新登録結核患者数は33人、結核罹患率は8.6(人口10万対)で、大阪府の10.0より低かった。喀痰塗抹陽性肺結核の患者数は16人で、新登録患者に占める割合は48.5%であった。

＜結核患者の状況＞

(人)

	新登録患者数 (活動性)	うち)登録時喀痰塗抹陽性	うち)70 歳以上
令和3年(2021年)	32	17	20
令和4年(2022年)	32	12	18
令和5年(2023年)※	33	16	23

※速報値のため、集計により数値が変動する場合があります。

潜在性結核感染症患者を含む全結核患者に対して、再発及び薬剤耐性菌の出現を防止するため、患者本人が確実に服薬し治療が成功することを目指し、本人及び家族も含めた服薬支援(DOTS)に取り組んだ。また、結核に関する啓発事業として、9月の結核予防週間に合わせた管内医療機関や地域包括支援センター等へのポスター掲示、開業医を対象にした「結核対策医療機関講習会」を吹田市医師会と共催で開催する等、早期発見と早期治療に向けた情報発信に努めた。

性感染症対策では、全国的に若い年代で梅毒が急増していることを踏まえ、検査機会の拡充や性感染症に関する啓発を強化した。検査については、定例の平日午前枠に加え、新たに年2回の平日午後枠の定例外検査を実施した。啓発活動としては、市ホームページやSNS等での情報提供だけでなく、千里金蘭大学の文化祭におけるHPVワクチンと性感染症に関する啓発ブースの出展、母子保健課(現 児童部すこやか親子室)とともにプレコンセプションケアに関する市民向け講演会で性感染症に関するミニ講座の実施等、関係機関と連携して直接対象者へアプローチする啓発活動にも新たに取り組んだ。

社会福祉施設等における集団感染発生時の必要な衛生上の指導として、令和2年度(2020年度)以降は新型コロナへの対応がその多くを占めていたが、5類感染症移行後は感染性胃腸炎や疥癬等の対応が増加した。

＜感染性胃腸炎疑い集団対応 施設調査実績＞

(件)

	令和3年度 (2021年)	令和4年度 (2022年)	令和5年度 (2023年)
保育園、幼稚園	28	33	18
小中学校、高校、大学	0	0	0
高齢者施設等	1	1	7
医療機関	1	1	0
合計	30	35	25

8 精神保健福祉

精神保健事業として、こころの健康相談(電話、面接、訪問等)や措置診察立会業務、精神科病院実地指導、依存症関連の関係機関研修や啓発等を実施している。

自殺対策については、自殺未遂者相談支援事業などの個別施策に加え、人材養成研修やメンタルヘルス市民講演会、各種啓発事業、ゲートキーパー養成研修を実施した。若年層対策

としては、吹田市内の大学や高校との連絡会を開催するとともに、自殺未遂者の初期対応や治療にあたる、警察、消防、医療機関等の関係機関との連絡会を開催し、ネットワークの構築を推進した。本市ホームページにおいては、気軽に自身のこころの健康状態をチェックし、必要に応じて相談先を案内する「こころの体温計」の運用している。

令和5年度(2023 年度)は、国の新たな自殺総合対策大綱及び大阪府自殺対策計画の見直しを踏まえ、吹田市自殺対策計画の見直しを行った。見直しにあたって、市民のこころの健康状態や生きるための支援として求められることなどについての意識調査を実施し、吹田市自殺対策推進庁内会議や吹田市自殺対策推進懇談会等の開催、パブリックコメントの実施を経て、第2次吹田市自殺対策計画を策定した。第2次計画ではこれまでの取組をさらに発展させるとともに、国の自殺総合対策大綱の理念に沿い、「いのち支えるまち 吹田」を最終目標に掲げ、近年の新型コロナウイルス感染症の影響や子供・若者、女性の自殺者数の増加など喫緊の課題も含めて自殺対策の総合的な推進を図っていく。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム専門部会については、吹田市地域自立支援協議会の専門部会に位置づけ、福祉部障がい福祉室と共催で実施した。構成機関は 44 機関で、医療、福祉、教育、住宅等幅広く地域のネットワークの構築を推進した。

＜精神保健福祉相談支援件数＞ (件)

	支援延件数
令和3年度(2021 年度)	4,220
令和4年度(2022 年度)	3,576
令和5年度(2023 年度)	3,822

※「匿名での電話相談」等、継続支援には至らなかった電話やメール相談、他機関からの相談件数も含めた数。

9 難病対策

難病患者が地域で安心して療養生活を行うことができるよう、地域における医療提供体制を確保するとともに、難病患者の社会参加を支援し、地域で尊厳をもって生きられる共生社会の実現を推進する。

事業及び取組内容として、医療費助成の窓口、訪問等による個別支援のほか、各種講演会、関係機関会議、啓発活動等を通じて、難病患者の療養生活支援体制の構築、災害時を想定した支援体制の構築、就労を始めとした社会参加への支援等を進めている。

＜指定難病に係る医療給付申請受付件数＞ (件)

	新規受付	更新受付
令和3年度(2021 年度)	534	2,866
令和4年度(2022 年度)	668	2,973
令和5年度(2023 年度)	628	3,122

10 食品衛生

食品等に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、令和5年(2023年)度食品衛生監視指導計画に基づき、施設の監視指導を実施した。このうち、事故発生時に危害が拡大しやすいスーパーなどの大規模小売店や食品製造施設については、重点監視対象施設として、食品衛生監視票を用いた監視指導や抜き取り検査等を実施した。

また、食中毒の予防啓発事業として、全国的に多発しているカンピロバクター食中毒の発生を防止するために、市内の大学との連携による学内イントラネットを用いて、生又は加熱不十分な鶏肉の喫食を避けるよう啓発を行った。さらに、焼き鳥店、居酒屋等の施設に立入りし、カンピロバクター食中毒の危険性を周知し、生又は加熱不十分な鶏肉の提供自粛を指導した。

11 狂犬病予防・動物愛護管理

公衆衛生の向上と人と動物が共生する社会づくりのため、市報すいたやリーフレット等による普及啓発を行い、狂犬病予防法に基づく飼い犬登録と予防接種の推進、並びに動物の愛護及び管理に関する法律に基づく適正飼養の推進を図った。飼い犬登録等については、鑑札及び注射済票交付事務を市内動物病院でも実施できるよう業務委託を行い、実施率の向上を図った。また、放浪犬の捕獲収容業務、犬猫の引取り及び負傷動物の収容のほか、愛護動物に関する苦情相談対応を実施した。

飼い猫等の過剰な繁殖による生活環境被害の軽減と殺処分数の削減を目的とし、超音波式猫忌避装置の貸出し及び避妊去勢手術費用の補助金交付事業を行った。また、令和4年(2022年)7月から、所有者のいない猫に関する対策を推進するため地域猫活動を主体的に取り組む市民団体を支援する「地域猫活動支援事業」を実施している。

12 環境衛生

旅館、公衆浴場、理・美容所等の営業関係施設に対し、監視指導等を行い、衛生と安全の確保を図った。併せて、特定建築物や専用水道、遊泳場についても、維持管理状況調査を実施し、必要に応じて指導を行った。

また、感染症を媒介する蚊等健康被害を及ぼす衛生害虫の防除対策、井戸水・貯水槽の衛生管理等について、ホームページや広報紙に記事を掲載し、市民に対し注意喚起を行った。

循環式浴槽を有する社会福祉施設への調査施設数及び水質検査でレジオネラ属菌を検出した施設数

年度	現地調査・助言指導した社会福祉施設数	レジオネラ属菌検出施設数
令和3年度(2021年度)	0	0
令和4年度(2022年度)	2	2
令和5年度(2023年度)	2	2

13 地区組織育成

(1)吹田公衆衛生協力会

支部長 杉本 良一

会員数 130 名(9団体)

食品並びに環境関係組合によって組織され、「健康で明るく住みやすい地域社会づくり」を基本理念として、市民の健康づくり、より良い生活環境づくりに積極的に取り組み、公衆衛生の向上に寄与することを目的に活動している。

(2)大阪食品衛生協会吹田支部

会長 石井 博章

会員数 78 名(6団体)

食品関係営業者が食品事故防止のため、施設の自主衛生管理体制の確立、衛生講習会等の開催、消費者に対する食品衛生知識の普及等の実践活動を通じ食品の安全性の確保を図り、安全で豊かな地域社会づくりを目指している。

14 広報

(1)市報、ホームページ、SNS

市報すいたやホームページ、SNS等の媒体を用い保健所で実施している事業の情報を市民に提供している。令和3年度(2021 年度)に引き続き、市のトップページには新型コロナ情報のお知らせを掲載し、感染対策やワクチン接種の情報提供に努めた。

＜令和5年度(2023 年度)主な広報事例＞

内容	公開期間	広報媒体	室課名
不正大麻・けし撲滅運動	5月号	市報すいた	保健医療総務室
薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」	6月号	市報すいた	保健医療総務室
薬と健康の週間	7月号	市報すいた	保健医療総務室
	8月1日～	ホームページ	保健医療総務室
コンタクトレンズを正しく使おう！	8月1日発行	健康すいた	保健医療総務室
健康サポート薬局って知っていますか	9月号	市報すいた	保健医療総務室

麻薬・覚醒剤乱用防止運動月間	10月号	市報すいた	保健医療総務室
11月はみんなで医療を考える月間	11月号 11月1日～	市報すいた ホームページ SNS	保健医療総務室
11月15日は世界さい帯血デー	11月号 11月1日～	市報すいた	保健医療総務室
11月30日(いい看取り・看取られ)は「人生会議」の日	11月号 11月1日～	市報すいた ホームページ SNS	保健医療総務室
ペットを飼うシルバー世代の方へ	8月号	市報すいた	衛生管理課
9月20日～26日は動物愛護週間	9月号	市報すいた	衛生管理課
犬の散歩のマナーについて	10月号	市報すいた	衛生管理課
地域猫活動を支援します	12月号	市報すいた	衛生管理課
ペットは最後まで愛情と責任を	2月号	市報すいた	衛生管理課
保護猫・保護犬飼い主募集	3月号	市報すいた	衛生管理課
狂犬病予防注射に行きましょう	4月10日	SNS	衛生管理課
飼い犬登録の特例制度が始まります(マイクロチップ関係)	5月31日	SNS	衛生管理課
飼い犬との散歩のマナーを守りましょう	7月4日	SNS	衛生管理課
保護された動物達の新しい飼い主募集	7月24日	SNS	衛生管理課
ペットの災害対策をしましょう	8月28日	SNS	衛生管理課
2月22日はネコの日です(知っていますか地域猫活動)	2月22日	SNS	衛生管理課
飼い犬との散歩のマナーを守りましょう	3月4日	SNS	衛生管理課
ペットの防災	3月14日	SNS	衛生管理課

動物愛護教育(出前教室)と学校等飼育動物	11月29日	ホームページ	衛生管理課
飼い犬が人を咬んでしまったら	10月24日	ホームページ	衛生管理課
飼い犬・飼い猫が迷子になったときは	12月20日	ホームページ	衛生管理課
鳥を飼っている皆様へ(鳥インフルエンザについて)	2月21日	ホームページ	衛生管理課
猫の避妊・去勢手術の助成	3月25日	ホームページ	衛生管理課
カンピロバクター食中毒に注意	6月号	市報すいた	衛生管理課
夏場の食中毒に注意	7月5日	SNS	衛生管理課
	8月号	市報すいた	衛生管理課
カンピロバクター食中毒に注意	8月9日	SNS	衛生管理課
サルモネラ食中毒に注意	9月28日	SNS	衛生管理課
ノロウイルス食中毒に注意	11月号	市報すいた	衛生管理課
	12月5日	SNS	衛生管理課
ウェルシュ菌食中毒に注意しましょう	2月2日～	ホームページ	衛生管理課
ウェルシュ菌食中毒に注意を！	2月16日	SNS	衛生管理課
井戸水は雑用水に	6月号	市報すいた	衛生管理課
貯水槽は定期的に清掃を	6月号	市報すいた	衛生管理課
感染症を媒介する蚊に注意	6月号	市報すいた	衛生管理課
HPVワクチン(子宮頸がん予防)の接種勧奨	4月号	市報すいた	地域保健課

風しん5期の接種勧奨	5月号	市報すいた	地域保健課
子宮頸がんワクチン(HPV)キャッチアップ対象者向けの接種勧奨	6月号	市報すいた	地域保健課
麻しん風しん(MR)2期の接種勧奨	6月号	市報すいた	地域保健課
ジフテリア破傷風(DT)の接種勧奨	7月号	市報すいた	地域保健課
HPVワクチン(子宮頸がん予防)の啓発	7月	大学内ポータルサイト(イントラネット)	地域保健課
高齢者肺炎球菌の接種勧奨	8月号及び2月号	市報すいた	地域保健課
中3インフルエンザの接種勧奨と助成のお知らせ	9月号	市報すいた	地域保健課
高齢者インフルエンザの接種勧奨	10月号	市報すいた SNS	地域保健課
3月1日～7日は子どもの予防接種週間です	3月	市報すいた SNS	地域保健課
子どもの定期予防接種の勧奨	通年配付	吹田の子育てを楽しむ本	地域保健課
難病の日	5月23日～	ホームページ SNS	地域保健課
世界希少・難治性疾患の日	2月29日	ホームページ SNS	地域保健課
5月14日から20日はギャンブル依存症問題啓発週間です	5月16日～	ホームページ SNS	地域保健課
9月10日から16日は自殺予防週間です	9月9日～	ホームページ SNS	地域保健課
11月10日から16日はアルコール関連問題啓発週間です	11月10日～	ホームページ SNS	地域保健課
3月は自殺対策強化月間です	3月1日～	ホームページ SNS	地域保健課
こころの健康相談	6月、9月、3月	大学内ポータルサイト(イントラネット)	地域保健課
お酒の影響について	11月	大学内ポータルサイト(イントラネット)	地域保健課

年末年始の感染拡大に備えてオミクロン株対応ワクチンの年内接種をお願いいたします	11月24日 ～12月28日	本庁デジタルサイネージ	地域保健課
お子様への新型コロナワクチン接種を(1・2・3回目接種)ご検討ください。			
6/1～6/7はHIV検査普及週間です。	6月1日	SNS	地域保健課
	5月31日 ～6月7日	本庁デジタルサイネージ	
9/24～9/30は結核予防週間です。	9月上旬～	ポスター リーフレット 本庁デジタルサイネージ	地域保健課
	9月号	市報すいた	地域保健課
	9月21日～	SNS	地域保健課
蚊・マダニなどに注意しましょう	5月16日 ～10月31日	ホームページ	地域保健課
12月1日は世界エイズデーです。	11月20日	SNS	地域保健課
	10月30日 ～12月15日	ホームページ	
	12月上旬	大学内ポータルサイト(イントラネット)	
	11月8日 ～11月29日	本庁デジタルサイネージ	
梅毒感染者が急増中！あなたは大丈夫？？	12月上旬	成人祭ポータルサイト	地域保健課
RSウイルス感染症に注意しましょう	8月8日 ～8月23日	ホームページ	地域保健課
咽頭結膜熱(プール熱)に注意しましょう	10月4日 ～2月8日	ホームページ SNS	地域保健課
インフルエンザに注意しましょう	9月15日～	ホームページ SNS	地域保健課

(2)ロビー展示

保健所1階ロビーでは、ポスターの掲示、パンフレットや情報誌の配架を行っている。また、各啓発時期に合わせ、市役所ロビー等でパネル展示を行っている。

<令和5年度(2023年度)の主な事例>

内容	展示期間	場所	室課名
アニメーション専門学校との協働事業 地域猫活動ポスター	11月14日～	吹田市・保健所・公民館等	衛生管理課
動物愛護週間ポスター	9月6日 ～9月27日	市役所・保健所等	衛生管理課
吹田市保健所の保護猫・保護犬飼い主募集ポスター	11月28日	保健所等	衛生管理課
ペットの防災啓発リーフレット	3月14日～	保健所等	衛生管理課
ペットの終生飼養啓発リーフレット	3月14日～	保健所等	衛生管理課
犬の適正飼養啓発リーフレット	5月27日～	保健所等	衛生管理課
自殺予防週間 (自殺予防や心の健康に関するパネル展示やリーフレット配架)	9月8日 ～9月15日	市役所	地域保健課
アルコール関連問題週間 (アルコールやこころの健康についてパネル展示やリーフレット配架)	11月10日 ～11月16日	市役所	地域保健課
自殺対策強化月間 (自殺予防やこころの健康に関するパネル展示やリーフレット配架)	3月1日 ～3月8日	市役所	地域保健課
12/1は世界エイズデー(パネル展示やリーフレット配架)	11月20日～12月10日	保健所	地域保健課

第9 活動の指標（市内3か年比較）

各年12月末日現在

項 目				令和 2 年 (2020 年)	令和 3 年 (2021 年)	令和 4 年 (2022 年)
面 積 (km ²)				36	36	36
人 口 (人)		男		180,161	181,081	182,078
		女		195,940	197,788	199,238
		計		376,101	378,869	381,316
世 帯 数				175,891	178,690	181,823
人 口 密 度 (人／km ²)				10,447	10,524	10,592
医 療 施 設	病 院	一般病院		14	14	14
		結核療養所		0	0	0
		精神科病院		1	1	1
	診 療 所	一 般	数	356	361	371
			1 施設当り人口	1,056	1,049	1,028
		歯 科	数	200	204	210
			1 施設当り人口	1,881	1,857	1,816
人 口 動 態	出 生		実 数	3,080	2,952	2,958
			人口千対	8.2	7.8	7.8
			合計特殊出生率	1.37	1.29	1.30
	死 亡		実 数	3,051	3,221	3,534
			人口千対	8.1	8.5	9.3
	乳児死亡 (再掲)		実 数	7	4	8
			出生千対	2.3	1.4	2.7
	自然増加		実 数	29	▲ 269	▲ 576
			人口千対	0.1	▲ 0.7	▲ 1.5
	死 産		実 数	64	58	43
			出産千対	20.4	19.3	14.3
	死 産 (自然のみ)		実 数	31	33	23
			出産千対	9.9	11	7.7
	婚 姻		実 数	1,636	1,602	1,755
			人口千対	4.3	4.2	4.6
	離 婚		実 数	478	482	460
			人口千対	1.3	1.3	1.2

	主 要 死 因 別 状 況	悪 性 新生物	実 数	934	883	962
			人口 10 万対	248.3	233.1	252.3
		心疾 患	実 数	422	490	521
			人口 10 万対	112.2	129.3	136.6
		肺 炎	実 数	159	162	133
			人口 10 万対	42.3	42.8	34.9
		脳血管 疾 患	実 数	188	149	168
			人口 10 万対	50	39.3	44.1
		不慮の 事 故	実 数	105	76	91
			人口 10 万対	27.9	20.1	23.9
		自 殺	実 数	51	57	59
			人口 10 万対	13.6	15	15.5
		肝疾 患	実 数	50	33	49
			人口 10 万対	13.3	8.7	12.9

- (注) 1)面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(令和3年(2021 年)1月1日現在の面積(国土地理院))による。
- 2)人口、世帯数は、吹田市住民基本台帳人口による。
- 3)医療施設数は、保健所に開設の届出のある病院及び診療所数。
- 4)人口動態は、各年の人口動態総覧、保健所・市町村別(大阪府主要健康福祉データ)による。
- 5)合計特殊出生率は出生数・母の年齢(5 歳階級)・市町村別(大阪府人口動態調査)及び年齢・性别人口(総務室)により算出。

第10 事務事業執行概要

保健医療総務室事務概要

保健所内の総合調整、庁舎の維持管理をはじめ、管内の医療施設、施術所、薬局等に対する申請・届出・許認可や監査指導、各種医事免許の受付等の業務を実施。また、吹田市保健所運営協議会、豊能薬事懇話会、豊能地域救急メディカルコントロール協議会の運営や、地域医療推進懇談会等の地域医療推進事業を行っている。

さらに、高齢社会の進展や疾病構造の変化に伴って複雑多様化する市民の医療ニーズに適切に対応するため、大阪府医療計画、大阪府地域医療構想等に基づき、地域における保健・医療・福祉の関係機関と連携を図りながら、医療提供体制の整備や総合的な保健医療サービスの提供に努めるなど、広域的かつ専門的活動を実践している。

1 医事関係事務(根拠法令 医療法、歯科技工士法、保健師助産師看護師法等)

(1)市内の医事関係施設数(令和6年(2024年)4月1日現在)

①病院施設数及び病床数

施設数(カ所)			病床数(床)					
15	一般	精神	4,591	精神	感染症	結核	療養	一般
	14	1		412	0	0	260	3,919

②診療所施設数及び病床数

一般診療所						歯科診療所			
施設数(カ所)			病床数(床)			施設数(カ所)			病床数(床)
376	無床	有床	44	療養	療養以外	210	無床	有床	0
	373	3		0	44		210	0	

③助産所

施設数(カ所)			病床数(床)
28	無床	有床	4
	26	2	

④施術所

施設数(カ所)			
あはき	あはき(出張)	あはき(滞在)	柔整
308	151	0	190

⑤歯科技工所

施設数(カ所)
48

⑥薬局

施設数(カ所)
174

⑦衛生検査所

施設数(カ所)
4

(2)医療機関や施術所等の開設許可や開設届出受理事務等の取扱状況

医療法等の各法令の規定に基づき、病院、診療所等の各種届出受付、許可等の事務を行っている。

令和5年度(2023年度)は主に病院関係 54 件、診療所関係 138 件、施術所関係 155 件の届出等の受付事務や許可等を行った。

項目 施設 区分	令和4年 度統計	令和5年 度統計	開設届	開 設 許 可 申 請 ※	変 更 許 可 申 請	変更届	構 造 設 備 使 用 許 可 申 請	廃止届 休 止・再 開届
病院	74	54	0	0	37	3	14	0
診療所	159	138	26	11	8	70	0	23
助産所	7	2	1	0	0	1	0	0
歯科技工所	6	13	3	0	0	8	0	2
施術所 (あはき)	87	92	15	0	0	65	0	12
施術所 (あはき出張)	13	20	16	0	0	0	0	4
施術所 (あはき滞在)	0	0	0	0	0	0	0	0
施術所 (柔整)	55	51	11	0	0	25	0	15
合計	401	370	72	11	45	172	14	56
収入済額		800,000						

※は手数料を要するもの

(3)医事免許関係取扱件数

中核市移行に伴い、医師、歯科医師、保健師等の医療従事者免許に係る各種申請、届出等の受付処理事務を、大阪府との委託契約により実施している。

令和5年度(2023年度)は1,325件の申請・届出等の受付、処理を行った。

区分	令和4 年度集 計	令和5 年度集 計	免許 申請	訂正	書換 交付	再交 付	籍 抹 消	返納
総数	1,257	1325	572	362	352	25	12	2
医師法	81	92	43	20	15	5	8	1
歯科医師法	31	22	10	4	4	0	4	0
薬剤師法	141	125	47	40	35	2	0	1
保健師助産師看護 師法	861	946	394	269	269	14	0	0
診療放射線技師法	20	21	4	8	8	1	0	
臨床検査技師等 に関する法律	21	23	9	6	6	2	0	0
理学療法士及び作 業療法士法	93	89	58	15	15	1	0	
視機能訓練士法	8	3	3	0	0	0	0	0
母体保護法 (受胎調節実施指 導員指定証)	0	3	3	0	0	0	0	0
死体解剖保存法 (認定医)	1	1	1			0		0

2 薬事関係事務(根拠法令 医薬品医療機器等法、毒物劇物取締法、臨床検査技師等に関する法律等)

(1) 事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分		手 数 料 (円)	令 和 3 年 度 (2021 年 度) 処 理 数	令 和 4 年 度 (2022 年 度) 処 理 数	令 和 5 年 度 (2023 年 度) 処 理 数
薬局	許可申請	29,000	15	11	12
	更新申請	11,000	17	27	31
	書換交付	2,000	0	1	2
	再 交 付	2,900	0	0	0
薬局製造販売医薬品	許可申請	11,000	1	0	1
	更新申請	5,600	1	6	5
	書換交付	2,000	0	0	0

製造業	再 交 付	2,900	0	0	0
薬局製造販売医薬品 製造販売業	許可申請	6,300	1	0	1
	更新申請	4,000	1	6	5
	書換交付	2,000	0	0	0
	再 交 付	2,900	0	0	0
薬局製造販売医薬品製造販売承認申請		37,800	1	0	1
店舗販売業	許可申請	29,000	9	3	3
	更新申請	11,000	6	8	15
	書換交付	2,000	2	1	0
	再 交 付	2,900	0	0	0
高度管理医療機器等 販売・貸与業	許可申請	29,000	28	16	24
	更新申請	11,000	27	82	28
	書換交付	2,000	1	4	2
	再 交 付	2,900	1	0	0
毒物劇物販売業	登録申請	14,700	11	7	10
	更新申請	6,400	22	31	42
	書換交付	2,400	0	7	2
	再 交 付	4,000	0	0	0
衛生検査所	登 録	80,000	0	1	1
	登録変更	61,000	0	0	0
	書換交付	8,200	0	0	0
	再 交 付	8,200	0	0	0
合 計			144	211	185
収入済額			2,434,100	2,624,700	2,518,900

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和3年度 (2021年度) 処 理 数	令和4年度 (2022年度) 処 理 数	令和5年度 (2023年度) 処 理 数
薬 局 関 係	591	592	554
店 舗 販 売 業 関 係	144	176	171
高 度 管 理 医 療 機 器 等 関 係	100	136	205
管 理 医 療 機 器 関 係	70	43	117
毒 物 劇 物 販 売 業 関 係	38	46	42
毒 物 劇 物 業 務 上 取 扱 者 関 係	0	0	0
衛 生 検 査 所 関 係	2	3	4
合 計	945	996	1093

3 医療相談

市民に身近な地域において医療に関する相談や苦情に対応するため、医療相談窓口を整備し、医療の安全と信頼を高め、管内の医療機関における患者サービス及び医療の質の向上に資するために相談事業を実施した。

相談・苦情受付件数(延数)

	計	電話	文書	来所	メール
令和3年度 (2021 年度)	273	241	1	24	7
令和4年度 (2022 年度)	432	390	3	22	17
令和5年度 (2023 年度)	407	286	0	12	109

4 医療機関の立入検査及び実地指導等

(1)病院・診療所立入検査(根拠法令 医療法)

市内の病院に対し、医療の安全等に係る年1回の定期立入検査を実施し、助言や指導を行っている。また、市内の有床診療所や人工透析を行っている診療所に対し、3年に1回の定期立入検査を実施。さらに、市内の無床診療所や歯科診療所等に対して、新規開設時に現地調査を行っている。

ア 病院立入件数(定期)

実施時期 令和5年(2023 年)8月～令和6年(2024 年)1月

実施病院数 15 病院

イ 診療所立入件数(定期)

実施時期 令和6年(2024 年)2月

実施病院数 2診療所

ウ 診療所立入件数(新規開設)

実施時期 新規開設時(移転開設時を含む)

実施診療所数 26 診療所

(2)精神科病院実地指導

精神保健及び精神障がい者福祉に関する法律第38条の6及び第38条の7に基づく実地指導を実施した。

実施時期 令和5年(2023 年)11 月～12 月

実施病院数 2病院

(3)厚生労働省医政局医事課長通知に基づき、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師の業及び施術所の広告に関する指導を行った。

施術所数 498 施設(令和6年(2024 年)3月 31 日現在)

広告の指導実施数 1 件

5 薬事関係立入検査

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律、毒物及び劇物取締法、臨床検査技師等に関する法律及びそれら関係法令の遵守の確認のため、立入検査を実施した。

業 種		令和 3 年 度 (2021 年度)		令和 4 年 度 (2022 年度)		令和 5 年 度 (2023 年度)	
		施設数	立入検査数	施設数	立入検査数	施設数	立入検査数
薬 局 等 医薬品販売業	薬 局	164	31	169	40	174	44
	薬局製造販売医薬品 製造・製造販売業	25	14	25	4	24	9
	店 舗 販 売 業	59	4	60	12	61	32
	小 計	248	49	254	56	259	85
医 療 機 器 販売業・貸与業	高度管理医療機器等 販売業・貸与業	300	59	310	65	317	61
	管 理 医 療 機 器 販売業・貸与業	452	6	484	2	478	3
	小 計	752	65	794	67	795	64
毒 物 劇 物 販 売 業	一 般 販 売 業	206	25	208	46	199	29
	農業用品目販売業	3	1	3	1	4	1
	特定品目販売業	0	0	0	0	0	0
	小 計	209	26	211	47	203	29
衛 生 検 査 所		4	1	4	1	4	1
合 計		1213	141	1263	171	1261	179

6 薬事関連啓発事業

(1)薬と健康の週間に関する啓発

薬と健康の週間(10月17日～10月23日)に向け、市報(7月号)に大阪府薬剤師会主催の小・中学生向けポスター原画と社会人向け川柳の募集案内を掲載し、同週間の期間中、保健所内、阪急電鉄駅構内(市内7駅)において、ポスター掲示による啓発を行った。また、10月22日に「府民のつどい」を開催し、薬の適正使用に関する啓発活動やアンケートを実施した。

(2) 薬物乱用防止に関する啓発

- ア 5月(不正大麻・けし撲滅運動)、6月(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動)及び10月(麻薬・覚醒剤乱用防止運動月間)に市報に薬物乱用防止等の啓発記事を掲載した。
- イ 薬物乱用防止啓発用に、絆創膏を作成し、薬学生の実習や市内の小学校での薬物乱用防止教室等での配布を行っている。
- ウ 市内の学校薬剤師等による薬物乱用防止教室で用いられる薬物乱用防止啓発リーフレット及び薬の適正使用に関するパンフレットを小・中学生に配布した。
- エ 7月28日に山一地区公民館で行われた、第73回「社会を明るくする運動」地域講演において、地域住民26人に対して、薬物乱用防止に関する講演を実施した。

7 その他薬事関連事業

解毒剤等医薬品・医療機器の備蓄調査

保健所における危機管理業務の一環として毒物劇物等の事故やNBC災害等の発生時に迅速な対応が行えるよう、市内の病院等を対象に解毒剤等医薬品・医療機器の備蓄調査を大阪府茨木保健所生活衛生室薬事課と実施した。その結果及び連絡体制を関係機関(病院、警察、消防、医師会、薬剤師会、保健所)と共有した。

8 保健所運営協議会(根拠法令 地域保健法)

(1) 概要

市内の地域保健及び保健所運営に関する事項について審議する。

(2) 開催状況

開催年月日	出席委員	会議内容
令和5年(2023年) 6月28日(水)	8人	(1)吹田市保健所の運営について (2)吹田市保健所における新型コロナウイルス感染症への対応と次の感染症危機への備えについて (3)その他
令和5年(2023年) 12月15日(金)	9人	(1)吹田市感染症予防計画(案)について (2)その他

(3) 委員名簿

令和5年(2022年)6月1日現在

氏 名	所 属	備 考
磯 博康	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター (NCGM) センター長 国際医療協力局 グローバルヘルス政策研究セ ンター(iGHP) センター長	
大倉 佳子	大阪府助産師会吹田班 班長	
岡村 俊子	一般社団法人吹田市薬剤師会 会長	
川畑 慶和	大阪府吹田警察署 署長	
北本 恒雄	吹田市社会福祉協議会 常務理事	
杉本 良一	吹田公衆衛生協力会 会長	
土井 有羽子	千里金蘭大学(看護学部)教授	副会長
古川 國久	吹田商工会議所 副会頭	
三木 秀治	一般社団法人吹田市歯科医師会 会長	
御前 治	一般社団法人吹田市医師会 会長	会長
三谷 一裕	吹田市健康づくり推進事業団 理事長	

9 大阪府医療計画推進に係る会議

(1) 豊能医療・病床懇話会(事務局 大阪府池田保健所)

第8次大阪府医療計画(素案)及び基準病床数の課題、新興感染症の協定締結の状況、医療計画における二次医療圏の評価、大阪府全域の現状・課題、二次医療圏の現状・課題、令和7年(2025年)に向けた各病院の方向性の共有や地域医療への協力に関する意向書の確認等を行った。

ア 豊能圏域病院連絡会

(ア) 概要

将来の医療需要に見合ったあるべき医療提供体制の構築に向け、医療機能の分化・連携を推進するため、管内全ての病院が一同に集まり各病院の今後の方向性について協議を行った。豊能二次医療圏の病床機能報告対象病院(吹田市内は14病院)を対象に実施した。

(イ)開催状況

開催年月日	出席病院	会 議 内 容
令和3年(2021年) 12月13日	43病院中36病院 (吹田市内の病院 は全て出席)	・令和3年度「地域医療構想」の取組と進捗状況 ・令和3年度豊能二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況 ・2025年に向けた病院の今後の方向性について(病院からの説明)
令和4年(2022年) 12月1日	43病院中37病院 (吹田市内の病院 は全て出席)	・令和4年度「地域医療構想」の取組と進捗状況 ・令和4年度豊能二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況 ・令和4年度豊能二次医療圏における各病院の今後の方向性
令和5年(2023年) 12月12日	43病院中41病院 (吹田市内の病院 は全て出席)	・令和5年度「地域医療構想」の取組と進捗状況 ・令和5年度豊能二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況 ・令和5年度豊能二次医療圏における各病院の今後の方向性 ・新興感染症にかかる協定締結の状況について

(2)豊能薬事懇話会

ア 概要

大阪府医療計画に基づき、豊能二次医療圏内における薬事衛生の推進・向上を図ることを目的として、地域医療の一端を担っている薬局のあり方をめぐる議論や、医療機関・地域と薬局の連携情報交換のため開催した。

イ 開催状況

開催年月日	出席 委員	会 議 内 容
令和6年(2024年) 1月25日	12人	(1) 第8次大阪府医療計画(府域版)案の概要について (2) 認定薬局の推移 (3) 災害時救急医薬品の確保について

ウ 委員名簿

令和6年(2024年)3月31日現在

氏 名	所 属	備 考
林 良紀	一般社団法人 箕面市薬剤師会 会長	会長
村田 勇二	一般社団法人 箕面市医師会 副会長	
清水 達也	一般社団法人 池田市歯科医師会 会長	
芦田 康宏	一般社団法人 豊中市薬剤師会 会長	
中村 圭子	一般社団法人 池田市薬剤師会 会長	

岡村 俊子	一般社団法人 吹田市薬剤師会 会長	
勝浦 正人	市立吹田市民病院 薬剤部 部長	
岡村 武	一般社団法人 大阪府薬剤師会 理事	
衛門 明彦	池田市子ども・健康部 部長	
北村 清	箕面市健康福祉部 部長	
松浪 桂	豊中市健康医療部 部長 兼 保健所 所長	
梅森 徳晃	吹田市健康医療部 部長	
小森 進	豊能町生活福祉部 部長	
寺内 啓二	能勢町福祉部 部長	

(3) 豊能地域救急メディカルコントロール協議会

ア 概要

豊能圏域における救急搬送体制及び救急医療体制の向上に資するため、消防機関と医療機関が一体となったメディカルコントロール体制と救急医療機関の受入体制の充実を図ることを目的に開催した。

イ 開催状況

年度	開催年月日	出席 委員	会 議 内 容
令和3年度 (2021 年度)	令和3年(2021 年) 7月 28 日 (オンライン開催)	18 人	・教育小委員会からの報告 ・検証小委員会からの報告
	令和4年(2022 年) 1月 14 日 (オンライン開催)	18 人	・傷病者の搬送及び受入れの実施基準 医療機関リスト(消防機関向け)令和4年(2022 年)1月(豊能圏域版)について ・大阪府救急搬送支援・情報収集分析システム(ORION)を用いた救急搬送指標について ・実施基準検証について
令和4年度 (2022 年度)	令和4年(2022 年) 7月 13 日 (オンライン開催)	18 人	・教育小委員会からの報告 ・検証小委員会からの報告 ・豊能地域救急MC協議会域内におけるDNAR の取り扱いについて ・新型コロナ陽性者の救急搬送調整について
	令和4年(2022 年) 12月 21 日 (オンライン開催)	18 人	・傷病者の搬送及び受入れの実施基準 医療機関リスト(消防機関向け) 令和5年(2023 年)1月(豊能圏域版)について ・大阪府救急搬送支援・情報収集分析システム(ORION)を用いた救急搬送指標について ・実施基準検証について

令和5年度 (2023 年度)	令和5年(2023 年) 8 月 23 日 (オンライン開催)	13 人	・教育小委員会からの報告 ・検証小委員会からの報告
	令和6年(2024 年) 1 月 15 日 (オンライン開催)	18 人	・傷病者の搬送及び受入れの実施基準 医療機関リスト(消防機関向け) 令和6年(2024 年)1月(豊能圏域版)について ・大阪府救急搬送支援・情報収集分析システム(ORION)を用いた救急搬送指標について ・実施基準検証について ・第8次大阪府医療計画(素案)報告 ・検証小委員会からの報告

ウ 委員名簿

令和6年(2024 年)3月 31 日現在

氏 名	所 属	備 考
織田 順	大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター長 教授	会長
飯尾 雅彦	一般社団法人 豊中市医師会 会長	副会長
甲斐 久雄	吹田市消防本部 警防救急室 参事	副会長
酒井 智彦	大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 助教	
田原 良雄	国立循環器病研究センター心臓血管系集中治療科 医長	
林 靖之	大阪府済生会千里病院 広域調整部長	
平山 博	大阪府済生会吹田病院 救急科 科長	
薮田 浩一	市立吹田市民病院 麻酔科 部長	
公文 啓二	吹田徳洲会病院 副院長・集中治療センター長	
中川 理	市立豊中病院 副院長	
渡邊 太郎	関西メディカル病院 理事長(病院長)	
若山 暁	大阪脳神経外科病院 院長	
尾下 正秀	市立池田病院 病院長	
巽 孝彦	巽病院 院長	
大河内 謙太郎	箕面市立病院 救急総合診療部長	
北村 良夫	一般社団法人 大阪府医師会 理事	
相馬 孝	一般社団法人 吹田市医師会 副会長	
青谷 憲和	池田市消防本部 警防救急課長	
片岡 邦恭	豊中市消防局 次長兼救急救命課長	
中井 修二	箕面市消防本部 消防企画室長	

(4) 豊能心血管疾患地域医療連携推進会議

第5次大阪府保健医療計画に基づき、平成 20 年度(2008 年度)から、圏域で4疾病(脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、がん)の地域連携パス導入に着手し、旧大阪府吹田保健所(現吹田市保健所)は急性心筋梗塞を担当していた。

平成 30 年度(2018 年度)からは、第7次医療計画に基づく地域医療連携推進事業において、対象疾患に心不全等を含めた心血管疾患等に拡大し、診療情報提供書を活用した病診連携の推進を行ってきた。

心血管疾患の地域連携に関する取組は、各医療機関の自主的な参画のもとに、大阪心不全地域医療連携の会の取組に移行することとし、令和4年度(2022 年度)をもって休会としていた。令和5年度(2023 年度)、大阪府から、本事業の役割を一定終えたものと判断し、令和6年3月末をもって実施要領を廃止する旨の通知があり、本会議の設置要領も令和6年3月末にて廃止した。

10 吹田市衛生検査所精度管理専門委員連絡会議

ア 概要

衛生検査所指導要領に基づき実施する衛生検査所精度管理の的確な運営を図り、適切な衛生検査所の指導監督体制を確立するため、衛生検査所精度管理専門委員を設置し、委員間において衛生検査所における検査精度の向上のための方策等を検討している、

イ 開催状況

開催年月日	出席委員	会議内容
令和5年(2023 年) 11 月 7 日	4 人	(1) 令和5年度衛生検査所精度管理事業について (2) 令和5年度衛生検査所立入検査日程調整について
令和6年(2024 年) 3 月 7 日 (関係自治体合同開催)	2 人	(1) 衛生検査所精度管理事業について (2) 持込検体について

ウ 委員名簿

令和6年(2024 年)3月 31 日現在

氏 名	所 属	備 考
井上 慎也	地方独立行政法人 市立吹田市民病院	委員長
井口 健	学校法人 大阪医科薬科大学	
小椋 聖子	社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会野江病院	
梶 勝史	社会福祉法人 真美会 大阪旭こども病院	

11 吹田市医療審議会

(1) 概要

吹田市の施策として実施する一次救急医療、在宅医療、災害時医療等の医療関係諸問題等についての重要事項を調査審議する附属機関として設置している。諮問すべき事項が発生した場合には速やかに開催することとし、令和5年度(2023年度)から休会としている。

(2) 開催状況

開催年月日	出席委員	会 議 内 容
令和3年 (2021年) 10月8日 (オンライン開催)	11人	・新型コロナウイルス感染症に対する主な取組と今後の医療提供体制について ・在宅医療推進に関する取組について ・市内病院等の救急受入状況等について
令和4年 (2022年) 7月6日 (オンライン開催)	11人	・新型コロナウイルス感染症に対する主な取組と今後の医療提供体制について ・在宅医療推進に関する取組について ・市内病院等の救急受入状況等について
令和5年度 (2023年) 休会	—	—

(3) 委員名簿

令和5年(2023年度)11月15日の委員任期満了後、新たな委員委嘱は行っていない。

12 吹田市地域医療推進懇談会

(1) 概要

今後、一層の進展が見込まれる高齢化に対し、大幅に増大する在宅医療等の医療需要に見合った必要な在宅医療の環境づくりの推進や、かかりつけ医等の定着促進等、地域医療の推進を目的に、医療提供者主体における検討を行っている。

(2) 開催状況

年度	開催年月日	出席委員	会 議 内 容
令和3年度 (2021年度)	令和3年 (2021年) 11月 (書面開催)	11人	・かかりつけ医の定着促進に関する市民啓発のあり方について ・令和3年度 ACP 推進事業について ・令和2年度医療に関する市民アンケートの結果 ・令和2年度訪問看護の実態調査結果 ・吹田市在宅医療・介護連携推進協議会における取組の進捗状況
令和4年度 (2022年度)	令和4年 (2022年) 7月28日	10人	・今年度の進め方について ・作業部会の開催について ・令和4年度 在宅医療に関するアンケート調査について

	(オンライン開催)		・訪問看護の推進について ・ACP推進事業について ・吹田市在宅医療・介護連携推進協議会における取組の進捗状況について
	令和5年 (2023年) 2月2日 (オンライン開催)	8人	・吹田市地域医療推進懇談会作業部会の報告について ・令和4年度 在宅医療に関するアンケート調査について ・令和4年度 在宅医療講演会について ・令和4年度 病院職員対象研修会について
令和5年度 (2023年度)	令和5年 (2023年) 10月19日 (オンライン開催)	10人	・今年度の進め方について ・在宅医療を支える病院等との医療連携のあり方について ・訪問看護の提供体制等の充実について ・吹田市在宅医療・介護連携推進協議会における取組について
	令和6年 (2024年) 3月13日 (オンライン開催)	10人	・在宅医療を支える病院等との医療連携のあり方について ・令和5年度医療に関する市民アンケート調査結果報告 ・令和5年度吹田市地域医療推進市民講演会開催報告

(3) 委員名簿

令和6年(2024年)3月31日現在

氏 名	所 属	備考
丸山 純子	一般社団法人吹田市医師会 理事	委員長
高木 忠徳	一般社団法人吹田市歯科医師会 副会長	
濱野 昌子	一般社団法人吹田市薬剤師会 副会長	
佐藤 美幸	済生会吹田病院 看護部長	
吉川 正秀	市立吹田市民病院 患者支援センター副センター長	
谷浦 武仁	大和病院 病院長	
井上 慶子	めぐみクリニック 院長	
新田 美和子	吹田市介護保険事業者連絡会 訪問看護事業者部会 部会員	
星加 由美子	吹田市介護保険事業者連絡会 訪問看護事業者部会 部会員	
竹屋 泰	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻看護実践開発科学講座 教授	副委員長

12 吹田市医療に関する市民アンケート調査

(1) 概要

かかりつけ医や在宅医療等についての市民意識や医療に対するニーズ等を把握し、今後の

地域医療の向上に活かすことを目的として、3年に1回実施している。

(2) 実施状況(調査結果)

	平成 28 年度 (2016 年度)	令和2年度 (2020 年度)	令和5年度 (2023 年度)
かかりつけ医がいる割合(%)	55.3	57.0	60.5

14 吹田市地域医療推進市民講演会

(1) 概要

市民に医療機関の役割分担や在宅療養という選択肢があること等、地域医療への理解を高めていただくことを目的とし、「かかりつけ医等の定着促進・在宅療養・看取り」の主に3つのテーマについて、シンポジウムや講演会を開催している。

(2) 開催状況

開催年月日	参加人数	主な内容
令和5年 (2023 年) 3月 18 日	146 人	テーマ「人生の最期はわたしらしく～あなたに寄り添う在宅医療～」 ・医師・訪問看護師・ケアマネジャーによる講演 ・看取り経験者による体験談
令和6年 (2024 年) 2月 28 日	192 人	テーマ「上手な医療のかかり方～知ってトクする医療の話～」 ・医師による講演 ・医療に関する市民アンケート調査結果概要について ・人生会議について

* 令和3年度(2021 年度)は新型コロナのため開催を見合わせた。

15 豊能二次医療圏救急医療対策事業

豊能圏域に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が休日・夜間における入院治療を必要とする重症患者を受け入れる医療機関に対し、その運営費の一部を補助し、地域における救急傷病者への医療体制の整備を図るもの。

【決算額】

項目	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022 年度)	令和5年度(2023 年度)
決算額(円)	14,722,473	14,807,146	14,961,378
救急患者受入数(延べ)	9,163	10,362	9,343

16 地域のネットワーク会議等

管内の健康づくり等を行うため、関係機関等主催の各種会議に参画し、具体的な方策の検討等を行った。

会議名	保健 所 参加回 数	参加機関等	事務局	内 容
吹田市学校保健会 理事会	4回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、教育委員会、小・中学校、教育センター、母子保健課、保健所	吹田市教育委員会 学校教育 部保健給 食室	吹田市における学校保健の振興を図り、学校教育の円滑な実施について協議する。

17 健康危機管理に対する取組

(1) 管内における感染防止体制の構築

ア 吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議

院内感染対策に係る情報交換を行うとともに、管内医療機関からの院内感染の予防等に関する相談や、改善策等の助言要請に応じることにより、その未然防止や早期解決、ひいては地域における医療の安全、医療レベルの向上に資することを目的に開催した。

年度	開催年月日	対象	主な内容
令和3年度 (2021 年度)	令和3年(2021 年) 6月 23 日 (オンライン開催)	吹 管 田 内 市 1・5 消 病 防 院 本 感 部 染 、 対 大 策 阪 担 健 者 安 吹 全 田 基 市 盤 消 研 防 究 本 所 部、 大 阪 健 康 安 全 基 盤 研 究 所	・講義:新型コロナの院内感染発生時の対応について ・報告:新型コロナの対応について(井上病院、吹田徳洲会病院、榎坂病院、吹田市保健所)
	令和4年(2022 年) 2月 3 日 (オンライン開催)		・講義:新型コロナの現状と今後の見通しについて ・意見交換:第6波における病院の状況と対応
令和4年度 (2022 年度)	令和4年(2022 年) 4月 26 日 (オンライン開催)		・講義:新型コロナの現状、今後の見通し ・意見交換:院内感染発生時の対応や取組み
	令和5年(2023 年) 1月 18 日 (オンライン開催)		・講義:新型コロナとインフルエンザ 同時流行の現状(ゾコーバ治療について含む) ・意見交換:連携病院との連携の実状
令和5年度 (2023 年度)	令和5年(2023 年) 7月 14 日 (オンライン開催)		・講義:今夏に注意すべき輸入感染症について ・意見交換:新型コロナウイルス感染症 5類移行後の状況について
	令和5年(2023 年) 12月 18 日 (オンライン開催)		・報告及び意見交換:薬剤耐性菌対策について ・多剤耐性緑膿菌(MDRP)や VRE アウトブレイク対応について

イ 院内感染対策に係る支援チームの派遣

管内医療機関や高齢者施設等で発生したクラスターに対して、管内医療機関の感染対策の専門家(感染制御医師(ICD)・感染管理認定看護師(ICN)等)、保健所職員で構成する支

援チームを派遣し、施設内ラウンド、感染対策の助言、研修を実施した。

ウ 高齢者施設等への感染対策リーダー育成研修

高齢者入所施設や高齢・障がい福祉サービス事業者等を対象に、管内病院の ICN を講師とした、感染対策についての研修を実施した。

年度	開催年月日	対 象	主な内容
令和3年度 (2021 年度)	令和3年(2021 年) 12 月 24 日 (オンライン開催)	感 染 対 策 担 当 者 管 内 高 齢 者 施 設 等 の 管 理 者 及 び	・基礎編:標準予防策の実践方法 ・応用編:標準予防策の定着に向けた活動 ・いずれも施設間の意見交換を実施
	令和4年(2022 年) 3 月 29 日 (オンライン開催)		・施設での初期治療について ・クラスター発生施設の報告 ・クラスター発生施設への支援の報告
令和4年度 (2022 年度)	令和4年(2022 年) 11 月 29 日		・施設における感染管理体制構築の重要性に関する講義及びグループワーク
	令和5年(2023 年) 2 月 13 日		・クラスター発生時の事例検討
令和5年度 (2023 年度)	令和5年(2023 年) 11 月 14 日		・5類移行後における継続的な感染対策のあり方に関する講義とグループワーク
	令和6年(2024 年) 1 月 22 日		・各施設内で行う研修や訓練のあり方に関する講義とグループワーク

エ 吹田市新型インフルエンザ等合同訓練

新型インフルエンザ等が疑われる患者が発生した場合を想定した患者への対応、院内の感染拡大防止策、患者搬送、病院と保健所の連携体制等について訓練を実施した。

開催時期	参加病院	主な内容
令和3年(2021 年) 8 月 (書面開催)	15	新型コロナ感染症の院内感染が発生した場合を想定し、役割分担や組織体制について、各病院が事例検討・机上訓練を行う
令和5年(2023 年) 3 月 29 日 (オンライン開催)	14	新型コロナ対策で学んだ院内での役割分担や指揮命令系統の確立等、院内体制の構築に関する意見交換・グループワーク
令和6年(2024 年) 3 月 (動画配信)	-	新興感染症疑い患者発生を想定した訓練動画を作成。管内診療所に疑似症と思われる患者が来院した想定での各関係機関の連携や対応のフローを動画化。外来感染対策向上加算カンファレンスにて管内医療機関に共有。大阪大学 CiDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点)人材育成部門のYouTubeチャンネルにて動画配信を実施。

(2) 健康危機管理体制の整備

ア 豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修

大規模地震等発生時において大阪府が被災地となった際に、大阪府地域防災計画及び大阪府災害医療救護マニュアルに従い、各災害協力病院と関係機関が連携し、適切な対応ができるように、機器操作訓練、実働訓練を行った(災害拠点病院主催)。

開催年月日	主な内容
令和3年(2021年) 10月23日 (オンライン開催)	・コロナ禍における複合災害について(机上シミュレーション)
令和4年(2022年) 10月29日(オンライン) 12月3日(実働訓練)	・大阪府救急・災害医療情報システムの入力訓練 ・患者搬送調整 ・実働訓練(災害拠点病院・箕面市立病院のみ)
令和5年(2023年) 10月14日	・大阪府救急・災害医療情報システムの入力訓練 ・机上訓練「多数傷病者受入れ」 ・講義:「災害医療体制について」 ・講義:「災害時における府保健所の役割・体制について」

イ 吹田市一斉合同防災訓練における独自訓練等

吹田市一斉合同防災訓練における、健康医療部の独自訓練として、ブラインド型訓練を実施した。

また、大阪府救急・災害医療情報システムの入力訓練、MCA 無線や衛星電話の発信訓練、発電機の使用訓練を毎年実施している。

開催年月日	主な内容
令和4年(2022年) 1月16日	初動体制の確立、医療機関の被災状況等の情報収集、それを踏まえた対応協議、関係部局や関係機関との連携等を行いながら、与えられたミッションをこなす。
令和5年(2023年) 1月15日	
令和6年(2024年) 3月	机上訓練として想定被災状況下における情報共有方法や関係機関との連携について検討。 (令和6年能登半島地震の被災地支援に注力するため、吹田市一斉合同訓練の実働訓練については中止)

ウ 令和6年能登半島地震の被災地職員派遣

令和6年(2024年)1月1日に発生した令和6年能登半島地震に対して、大阪府や府内中核市で構成された大阪府 DHEAT(災害時健康危機管理支援チーム)および大阪府公衆衛生(保健師等)チームの一員として、被災者の健康支援等のため被災地へ職員を派遣した。また、被災地で支援活動をした職員の活動経験を共有することで今後の災害派遣や市の災害対策に生かすため報告会を3月に開催した。

派遣内容	派遣先	派遣期間	派遣職員＊1
大阪府災害時健康危機管理 支援チーム(DHEAT)＊2	穴水町	1月 18 日～1月 24 日	保健師1名
大阪府公衆衛生チーム(保健師等) ＊3	輪島市	1月 30 日～2月3日	保健師1名・事務職1名
		2月7日～2月 12 日	事務職1名
		2月 10 日～2月 15 日	保健師1名
		3月8日～3月 13 日	薬剤師1名
		3月 16 日～3月 21 日	事務職1名

＊1 保健師以外の職種はロジ担当として派遣

＊2 災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)

一定規模以上の災害が発生した際に、被災都道府県庁の保健医療福祉調整本部及び保健所が担う指揮・総合調整(マネジメント)機能等を支援するため、専門的な研修・訓練を受けた都道府県等の職員により構成される応援派遣チーム

＊3 公衆衛生チーム

避難所における健康支援業務、在宅における要支援者の健康管理業務を支援するチーム

18 統計事務

(1) 各種調査

名称	調査基準日	対象	件数	調査内容
人口動態 調査業務	通年	吹田市 全域	—	各種人口動態調査票について、審査、照会、 回答、移送等の業務
国民生活 基礎調査	令和 5 年 (2023 年) 6月 1 日	1 地区	53	国民の保健、医療、福祉、年金、所得等国民生 活の基礎的な事項に関する調査
社会 保 障・ 人口問題基 本調査	令和 5 年 (2023 年) 7月 1 日	1 地区	53	社会保障及び人口問題に関する調査。5つの 調査で構成されており、令和 5 年度(2023 年 度)は、「人口移動調査」を実施
乳幼児身体 発育調査	令和 5 年 (2023 年) 9月 1 日	9 地区	—	乳幼児の身体発育の状態やその関連項目を調 査

19 保健所業務の総合調整

(1) 保健所内の総合調整

保健所における事業の円滑な推進を図るため、各室課間の総合調整を行っている。

(2) 関係機関との連絡調整

保健所における保健医療施策の推進や、大規模災害時の医療提供体制、新型インフルエンザ等感染症対応の協力体制の整備等のため、医療関係機関との連絡調整を行っている。

20 施設設備の管理及び整備

(1) 庁舎の維持管理状況

区 分	施工内容	数量	金額 (円)	工事完了年月日
施設改修	地下機械室雑排水ポンプ修繕業務	1	372,800	令和 6 年(2024 年) 3月 26 日
施設改修	漏水対応修繕業務	4	492,800	随 時
施設改修	レイアウト変更に伴う修繕業務	8	2,634,170	随 時
施設改修	その他修繕業務	6	401,500	随 時

(2) 主たる備品の購入状況

(1件 10 万円以上)

令和 5 年度(2023 年度) パーティションパネル 7枚 336,050 円

21 保健衛生関係の表彰

(1) 個 人

- ① 厚生労働大臣表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ② 大阪府知事表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ③ 大阪府知事表彰(環境衛生功労) 該当なし

(2) 団 体

- ① 厚生労働大臣表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ② 大阪府知事表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ③ 大阪府知事表彰(環境衛生功労) 該当なし

(3) 施 設

- ① 大阪府知事表彰(食品) 飲食店営業施設等 1施設
- ② 大阪府知事表彰(環境) 理容所、美容所施設等 3施設
- ③ 公衆衛生協力会優良施設(所長・協力会長)表彰 (食品) 食品関連施設 2施設
- ④ 公衆衛生協力会優良施設(所長・協力会長)表彰(環境) 理容所、美容所施設等 5施設

22 厚生労働統計関係の表彰 1名

23 研修及び実習指導関係

(1) 医師臨床研修

対象:社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院 初期臨床研修医

期間:令和5年(2023 年)4月1日～令和6年(2024 年)3月31日

内容:保健所における予防医療理解のため、結核管理家族検診に各1～2名見学

(2) 医師学生実習

対象: 大阪大学医学部 4 年 2 名

期間: 令和5年(2023 年)7 月 31 日～令和 5 年(2023 年)8 月 4 日

内容: 保健所における公衆衛生業務と健康まちづくりの取組を学ぶ

(3) 保健師学生等実習指導

区 分	派遣元の施設名	期 間	日数	人員	内 容
保健師 学生	大阪医科薬科大学	令和5年(2023 年)7 月 3 日～ 令和5年(2023 年)8 月 1 日	15	5	保健所における 公衆衛生活動 についての指導
	藍野大学短期大学部	令和5年(2023 年)6 月 19 日～ 令和5年(2023 年)6 月 23 日 令和5年(2023 年)9 月 25 日～ 令和5年(2023 年)10 月 16 日	15	5	

(4) 薬学生実務実習(一般社団法人吹田市薬剤師会からの依頼による)

実 施 日	人員	内 容
令和5年度(2023 年度)第Ⅱ期(令和5年(2023 年)6 月 1 日)	18	1) 保健所とその業務について 2) 保健所の薬剤師について
令和5年度(2023 年度)第Ⅲ期(令和5年(2023 年)9 月 7 日)	20	
令和6年度(2024 年度)第Ⅰ期(令和6年(2024 年)3 月 12 日)	20	

衛生管理課事務概要

市民の生活衛生の維持向上及び安全確保を図るため並びに愛護動物の適正飼養等を推進するため、関係機関と密接に連携をとりながら食品衛生、環境衛生、狂犬病予防及び動物愛護の各業務を実施した。

1 食品衛生

(根拠法令:食品衛生法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、大阪府ふぐ処理業等の規制に関する条例、食品表示法)

食品衛生法等の関係法令に基づき、飲食店営業等の食品営業許可及び届出等の許認可等事務を実施した。

営業許可及び届出を要する食品関係施設に立ち入り、施設の衛生管理、食品の衛生的な取扱い、適正表示等について監視指導を実施した。

医師、患者、他自治体等からの食中毒を疑う事例の通報等に基づき、患者調査、検査、施設立入調査等の食中毒調査を実施した。なお、令和5年度(2023年度)に食中毒と断定した事例は3件であった。

市内で製造、加工、販売等される食品等について、流通量の季節的变化、規格基準等を考慮し、収去検査を実施した。

食中毒の原因となった施設や残留農薬等の規格基準に適合しない食品に対しては、法令に基づき営業の禁・停止、食品等の回収・廃棄等の行政処分を実施し、令和5年度(2023年度)は2件の行政処分(営業の停止)を行った。

食品の異物混入、摂食後の体調不良等の苦情や営業者からの許認可、届出業、衛生管理等の相談に対し、調査、指導等を実施した。

食品衛生に関する知識や食中毒予防の普及啓発を目的とし、食品等事業者や消費者に対し、衛生講習会を実施した。市報や市ホームページ、公式SNSを用い、管内で発生したウエルシュ菌食中毒等の細菌性食中毒やノロウイルスの食中毒予防について情報発信した。また、管内大学の学生に対して大学内イントラネットを活用してカンピロバクター食中毒予防について発信した。

医師、施設等からの感染症に関する届出や報告のうち、感染性胃腸炎等については、地域保健課感染症担当と連携し、摂食した食品に起因する可能性がないか調査を行うとともに施設関係者への衛生指導等を実施した。

(1)監視指導

ア 旧食品衛生法に基づく許可を要する営業施設監視指導状況

業 種 別	令和3年度 (2021 年度)		令和4年度 (2022 年度)		令和5年度 (2023 年度)	
	施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数
飲 食 店 営 業	2,656	305	2,001	207	1,465	135
菓 子 製 造 業	392	53	314	40	212	23
乳 製 品 製 造 業	5	0	5	1	4	0
魚 介 類 販 売 業	192	27	151	26	40	19
魚肉ねり製品製造業	2	0	2	1	2	1
食品の冷凍又は冷蔵業	17	4	10	2	7	4
びん詰食品製造業	5	0	4	2	4	2
喫 茶 店 営 業	254	18	82	4	30	5
アイスクリーム類製造業	20	1	16	3	10	1
食 肉 処 理 業	9	2	5	2	4	7
食 肉 販 売 業	228	33	176	31	54	24
食 肉 製 品 製 造 業	3	1	1	1	1	3
食用油脂製造業	1	0	1	0	0	0
み そ 製 造 業	1	0	1	0	1	0
醬 油 製 造 業	1	0	1	0	1	0
ソース類製造業	2	0	2	0	1	0
酒 類 製 造 業	1	0	1	1	0	0
豆 腐 製 造 業	3	0	3	1	2	0
め ん 類 製 造 業	15	1	12	1	10	0
そうざい製造業	39	10	33	7	27	7
添 加 物 製 造 業	2	0	2	1	1	1
清涼飲料水製造業	4	0	3	2	2	1
合 計	3,852	455	2,826	333	1,878	233

イ 改正食品衛生法に基づく許可を要する営業施設監視指導状況

業 種 別	令和3年度 (2021 年度)		令和4年度 (2022 年度)		令和5年度 (2023 年度)	
	施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数
飲 食 店 営 業	578	605	1,226	756	1,824	756
調理の機能を有する自動 販 売 機	2	2	10	8	14	5
食 肉 販 売 業	15	17	40	34	63	34
魚 介 類 販 売 業	9	11	23	25	34	21
食 肉 処 理 業	1	1	1	0	1	1
菓 子 製 造 業	67	70	127	93	191	83
アイスクリーム類製造業	1	1	2	1	2	0
乳 製 品 製 造 業	0	0	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	0	0	1	1	2	2
食肉製品製造業	0	0	1	1	1	2
水産製品製造業	2	2	2	1	2	1
食用油脂製造業	0	0	0	0	0	0
みそ又はしょうゆ製造業	0	0	0	0	1	1
酒 類 製 造 業	0	0	0	0	1	2
豆 腐 製 造 業	0	0	1	1	1	0
麺 類 製 造 業	1	1	2	2	5	3
そうざい製造業	18	18	34	20	46	21
複合型そうざい製造業	1	1	2	2	2	1
冷凍食品製造業	1	1	1	0	1	1
複合型冷凍食品製造業	0	0	0	0	0	0
漬 物 製 造 業	0	0	0	0	4	4
密封包装食品製造業	2	3	2	0	2	0
食 品 の 小 分 け 業	3	4	3	0	5	2
添 加 物 製 造 業	3	3	3	1	5	3
合 計	704	740	1,481	946	2,207	943

ウ 改正食品衛生法に基づく届出(※)を要する営業施設監視指導状況

業 種 別		令和3年度 (2021 年度)		令和4年度 (2022 年度)		令和5年度 (2023 年度)	
		施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数
旧許可業種で あった営業	魚 介 類 販 売 業 (包装済みの魚介類のみの販売)	16	2	16	4	63	6
	食 肉 販 売 業 (包装済みの食肉のみの販売)	9	2	16	2	70	5
	乳 類 販 売 業	448	26	132	9	180	29
	氷 雪 販 売 業	4	0	2	0	4	1
	コップ式自動販売機 (自動洗浄・屋内設置)	169	0	188	0	237	0
販 売 業	弁 当 販 売 業	5	0	12	2	20	0
	野 菜 果 物 販 売 業	22	1	28	3	43	0
	米 穀 類 販 売 業	15	0	18	0	20	0
	通信販売・訪問販売による 販 売 業	6	0	6	0	8	0
	コンビニエンスストア	49	2	68	20	86	5
	百貨店、総合スーパー	58	12	64	42	69	31
	自動販売機による販売業 (コップ式自動販売機(自 動洗浄・屋内設置)を除く)	76	2	103	0	117	7
	その他の食料・飲料販売 業	445	3	583	20	699	14
製 造 ・ 加 工 業	いわゆる健康食品の製 造・加工業	2	0	1	0	3	0
	コーヒー製造・加工業 (飲料の製造を除く)	9	0	26	3	35	1
	農産保存食料品製造・加工業	0	0	1	0	1	0
	調味料製造・加工業	7	2	9	0	11	0
	糖 類 製 造 ・ 加 工 業	0	0	1	0	1	0
	精 穀 ・ 製 粉 業	1	0	1	1	1	0
	製 茶 業	1	0	2	0	2	0
	その他の食料品製造・加工業	14	2	23	0	37	2
上記以外 のもの(改 正法によ る改正後 の法第68 条第3項 において 準用され るものを 含む)	行 商	16	0	30	0	44	2
	集 団 給 食 施 設	111	1	117	18	117	21
	器具、容器包装の製造・加工業 (合成樹脂が使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る)	2	0	2	0	3	0
	露店、仮設店舗等における飲食の 提供のうち、営業とみなされないもの	1	0	1	0	4	0
	そ の 他	4	0	3	0	3	1
合 計		1,490	55	1,453	124	1,878	125

※食品衛生法改正により、非許可営業施設ではなく届出を要する営業施設になり、業種が変わったため。

エ 府条例により許可を要する営業

業 種 別		令和3年度 (2021 年度)		令和4年度 (2022 年度)		令和5年度 (2023 年度)	
		施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数
ふぐ処理業	飲 食 店 営 業	32	2	23	0	16	3
	魚介類販売業	22	7	17	12	11	10
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
	合 計	54	9	40	12	27	13

オ 改正食品衛生法に基づくふぐを処理する営業施設監視指導状況

業 種 別	令和3年度 (2021 年度)		令和4年度 (2022 年度)		令和5年度 (2023 年度)	
	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数
飲 食 店 営 業	1	1	10	9	15	5
魚介類販売業	3	4	7	11	12	8
合 計	4	5	17	20	27	13

カ 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に規定する営業

業 種 別	令和3年度 (2021 年度)		令和4年度 (2022 年度)		令和5年度 (2023 年度)	
	施設数	監視回数	施設数	監視回数	施設数	監視回数
食鳥処理場(30 万羽以上処理)	0	0	0	0	0	0
認定小規模食鳥処理場(生体から処理)	0	0	0	0	0	0
認定小規模食鳥処理場(と体から処理)	5	1	5	6	5	3
合 計	5	1	5	6	5	3
届出食肉販売業	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0

(2)食中毒

ア 食中毒発生状況(管内)

令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)							
事件数	事件数	発生年月日	発生場所	患者数	症状	原因食品	原因物質	原因施設	備考
1	3	令和5年 (2023 年) 6月 27 日	吹田市	1	発 熱、 腹痛	不明	カンピロ バ ク タ ー・ジェ ジュニ	不明	
		令和6年 (2024 年) 1 月 12 日	吹田市	56	腹 痛、 下痢	1月 12 日 に配達さ れた弁当	ウエルシ ユ菌	飲食店	
		令和6年 (2024 年) 1 月 22 日	吹田市	21	腹 痛、 下痢	1月 22 日 に配達さ れた弁当	ウエルシ ユ菌	飲食店	

イ 食中毒関連調査(他府県市等管外からの依頼調査)

令和3年度 (2021 年度)			令和4年度 (2022 年度)			令和5年度 (2023 年度)			備 考
調査件数	調査人数	患者数	調査件数	調査人数	患者数	調査件数	調査人数	患者数	
6	31	15	13	25	14	15	29	22	

ウ 食中毒等関連検査

検 体 名	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
食 品	0	8	0
便	12	24	54
吐 物	0	0	0
ふきとり	0	6	0
容 器	0	0	0
その他	1	0	0
合 計	13	38	54

(3) 食品等の検査

検 体 名	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
魚 介 類	5	9	7
冷 凍 食 品	2	5	6
魚 介 類 加 工 品	5	8	10
肉・卵類及びその加工品	15	20	19
乳 製 品	5	7	7
乳 類 加 工 品	0	0	0
アイスクリーム類・氷菓	0	4	4
穀 類 及 び そ の 加 工 品	1	4	2
野菜類・果物及びその加工品	21	27	32
菓 子 類	4	10	7
清 涼 飲 料 水	1	2	3
水	1	1	1
酒 精 飲 料	0	0	0
かん詰・びん詰食品	3	1	3
そ の 他 の 食 品	2	18	16
器 具 容 器 包 装	1	1	1
お も ち や	0	1	1
添加物化学的合成品	0	0	0
小 計	66	118	119
生乳・牛乳・加工乳等	3	3	6
ふ き と り 検 査	0	9	0
そ の 他	98	264	152
合 計	167	394	277

(4) 違反処分の状況

令和3年度(2021 年度)				令和4年度(2022 年度)				令和5年度(2023 年度)			
違反 件数	業種	違反 内容	措置	違反 件数	業種	違反 内容	措置	違反 件数	業種	違反 内容	措置
	無し			1	飲食店 営業	法第6 条第3 号違反	営 停 業 止	2	飲食店 営業	法第6 条第3 号違反	営 停 業 止

法: 食品衛生法

(5) 食品衛生事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分	令和3年度(2021 年度) 処理数	令和4年度(2022 年度) 処理数	令和5年度(2023 年度) 処理数
食品衛生法に基づくもの	884	810	786
府 条 例 に 基 づく も の	0		
食鳥関係に基づくもの	0	5	0
証 明 願	17	14	6
合 計	901	829	792
当 年 度 収 入 済 額	9,982,400 円		

※食品衛生法改正により令和3年(2021 年)6月1日以降、府条例に基づく手数料を要するものはない。

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和3年度(2021 年度) 処理数	令和4年度(2022 年度) 処理数	令和5年度(2023 年度) 処理数
食品衛生法に基づく各種届	1,700	930	1,175
府 条 例 に 基 づく 各 種 届	16	9	9
食鳥関係に基づく各種届	0	11	1
その他各種届(臨時出店届)	5	30	96

(6) 苦情・相談処理状況

	令和3年度(2021 年度)			令和4年度(2022 年度)			令和5年度(2023 年度)		
	苦情	相談	合計	苦情	相談	合計	苦情	相談	合計
処理件数	39	1,403	1,442	67	1,269	1,336	128	1,759	1,887

(7) 衛生教育・啓発キャンペーン実施状況

日 時	場 所	対 象 者	参 加 者	内 容 等
令和5年(2023 年) 7月 25 日	千里市民センター大ホール	営業者(小学校調理従事者)	約 150 名	小学校監視結果報告及び食中毒予防
令和5年(2023 年) 8月 31 日	関西大学第一高等学校 親和ホール	消費者(模擬店出店予定の高校生)	約 400 名	食中毒予防
令和5年(2023 年) 9月9日、10 日	メイシアター	消費者	約 1400 名	食中毒予防 (みんなの健康展)

令和5年(2023年) 10月18日	関西大学	消費者(模擬店出 店予定の大学生)	約100名	食中毒予防
令和5年(2024年) 2月～3月	吹田市動画配信チャンネルで講演動画を配信(限定公開リンク)	営業者(特定給食施設等の管理者及び給食担当者)	不明(動画配信)	衛生管理及び食中毒予防

(8)感染性事例に係る業務実績 6件

調査年月日	件名
令和5年(2023年)8月24日	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
令和5年(2023年)9月12日	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
令和5年(2023年)11月24日	認定こども園 感染性胃腸炎の集団発生
令和5年(2023年)12月20日	認定こども園 感染性胃腸炎の集団発生
令和6年(2024年)1月12日	幼稚園 感染性胃腸炎の集団発生
令和6年(2024年)2月19日	老健施設 感染性胃腸炎の集団発生

2 環境衛生

(根拠法令 公衆浴場法、旅館業法、興行場法、理容師法、美容師法、水道法、建築物衛生法等)

(1) 監視指導

ア 生活衛生関係営業施設

生活衛生関係営業施設(理容所、美容所、クリーニング所、旅館、興行場及び公衆浴場)について、法令に基づき許可又は確認を行うとともに、衛生措置基準の遵守、施設の維持管理向上を図るため監視指導を行った。

イ 遊泳場

「大阪府遊泳場条例」に基づき、遊泳場における公衆衛生の確保と危険の防止を図るため、維持管理状況調査を実施し、必要に応じて指導を行った。

ウ 建築物衛生対策

建築物衛生法に基づき特定建築物に係る各種届出の受理を行うとともに、衛生管理基準の遵守、管理記録の整備等の指導を行った。

エ 住居衛生対策

快適な住環境を確保するため、住まいの相談に対して助言や情報提供を行った。

オ 住宅宿泊事業

住宅宿泊事業法に基づき、各種届出の受理、届出施設への監視指導を行った。

カ レジオネラ対策

公衆浴場法等の規制を受けない社会福祉施設等における浴場施設について、水質検査結果の報告を求め、必要に応じ助言指導を行った。

キ 家庭用品

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、ベビー服・下着等の衣料品等を購入し、規制基準に適合しているかどうかの検査を実施した。

ク 水道

水道法に基づき、専用水道における衛生管理についての指導を行った。また、水質基準を超過した専用水道施設について、重点的に監視を行い、施設の適正な管理を指導し、改善したことを確認した。

同じく水道法に基づき、簡易専用水道について、定期検査結果から不適もしくは概ね適の施設に対し改善指導を行った。また、小規模貯水槽水道についても、必要に応じ受水槽管理の指導を行った。

ケ 温泉

温泉法に基づく温泉利用許可を行った。また、源泉所有施設に対して温泉の利用状況調査を行った。

コ その他

国際的な人の往来の活発化に伴い、旅行者や荷物などからトコジラミが運ばれることが原因で被害が増加してきていることから、旅館業営業者等に啓発を行い、ホームページにより周知を行った。

(2) 監視指導状況

ア 監視件数

施設名		令和3年度 (2021年度)		令和4年度 (2022年度)		令和5年度 (2023年度)	
		施設数	監視数	施設数	監視数	施設数	監視数
営業関係施設	旅館	13	2	13	7	13	11
	興行場	4	1	5	1	3	0
	公衆浴場	25	10	27	21	27	33
	理容所	179	8	181	10	181	24
	美容所	507	54	529	49	545	69
	クリーニング所※1	254	6	255	24	248	14
水道関係	専用水道	14	11	14	16	14	17
	特設水道	1	1	1	1	1	1
	簡易専用水道	732	1	739	0	725	0
	小規模貯水槽水道	1,888	0	1,884	0	1,878	0
	井戸等	—	0	—	0	—	2
建築物衛生関係	特定建築物	136	4	136	19	138	22
遊泳場関係	通年プール	16	3	17	16	17	22
	夏期プール	3	2	3	3	3	2
住宅宿泊事業	届出住宅	9	5	9	7	10	5
その他の施設	化製場	3	0	3	0	3	0
	畜舎・家禽舎	27	2	26	5	26	1
	温泉利用施設	3	5	2	1	3	6
関連業務※2	住居衛生関係	—	1	—	4	—	1
	ねずみ・衛生害虫駆除指導	—	10	—	10	—	24
	感染症対策	—	0	—	3	—	2
合計		3,814	126	3,844	197	3,835	256

※1 クリーニング所には無店舗取次店を含む。

※2 関連業務には指導数も含む。他は監視数。

イ 違反処分の状況

該当なし

(3) 環境衛生事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分			手数料(円)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
温 泉	利 用 許 可 申 請		35,000	0	0	1
	承 継 承 認 申 請		7,400	0	0	0
旅 館 業	許 可 申 請		22,000	0	0	0
	承 継 承 認 申 請		7,400	0	0	0
	事 業 譲 渡		16,300	0	0	0
公 衆 浴 場	許 可 申 請		22,000	2	2	0
	事 業 譲 渡		16,300	0	1	0
興 行 場	許 可 申 請	常 設	18,200	2	0	0
		常 設 以 外	8,900	0	0	0
	事 業 譲 渡	常 設	13,500	0	0	0
		常 設 以 外	8,700	0	0	0
ク リ ー ニ ン グ 所	新 規 開 設		16,000	3	4	0
	事 業 譲 渡		12,900	0	1	0
理 容 所	新 規 開 設		16,000	6	4	6
	事 業 譲 渡		12,900	0	2	0
美 容 所	新 規 開 設		16,000	38	32	37
	事 業 譲 渡		12,900	10	4	2
営 業 関 係 証 明 願			300	0	0	0
動 物 飼 養 場 許 可 申 請			8,200	1	2	0
合 計				62	52	46
令和5年度(2023年度)収入済額			748,800			

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
水 道 関 係	58	51	62
特 定 建 築 物	41	35	36
建 築 物 衛 生 管 理 業	8	11	26
温 泉	0	3	2
旅 館 業	5	4	4
興 行 場	1	0	2
公 衆 浴 場	1	13	14
理 容 所	5	11	16
美 容 所	46	52	69
ク リ ー ニ ン グ 所	20	17	21
化 製 場 法 関 係	0	0	0
住 宅 宿 泊 事 業	0	2	2
合 計	185	199	254

ウ 大阪府からの事務委託等

区 分		令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
温 泉	許 可 ・ 承 継 承 認 申 請	1	1	0
	工事完了・地位承継・廃止届出	0	1	0
	可燃性天然ガス濃度確認申請	0	1	0
	可燃性天然ガス濃度確認地位承継届出	0	1	0
遊 泳 場	開 設 許 可 申 請	0	2	0
	変 更 ・ 承 継 ・ 供 用 開 始 ・ 再 開 ・ 休 止 ・ 廃 止 届 出 書	3	15	8
ク リ ー ニ ン グ 師	免 許 ・ 受 験 に 関 す る 受 理	1	2	2
建 築 物 衛 生 管 理 業 の 登 録 申 請		5	11	17
合 計		10	34	27

根拠:温泉法関係事務交付金交付要綱

大阪府遊泳場条例事務交付金交付要綱

クリーニング師試験及び免許事務交付金要綱

建築物衛生管理事業登録事務交付金交付要綱
環境衛生事務委託契約

(4) 苦情・相談処理状況

種 別	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
営 業 関 係	48	40	49
飲 料 水 関 係	4	3	4
そ 族 昆 虫 駆 除 関 係	11	10	24
住 居 衛 生 関 係	1	4	1
住 宅 宿 泊 事 業 関 係	2	1	16
そ の 他	6	8	10
合 計	72	66	104

(5)衛生教育・啓発キャンペーン実施状況

該当なし

(6)現場検査実施状況(検査件数)

項 目	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
ダニ等昆虫の検鏡	1	0	0
残 留 塩 素 測 定	22	62	107
住 居 内 空 気 環 境	1	0	0
合 計	24	62	107

(7)講習会実施状況

日 時	場 所	対 象 者	参加者	内 容 等
令和5年(2023年) 10月2日	吹田市文化会館(メイシアター)小ホール	大阪府理容生活衛生 同業組合吹田支部員	13名	理容所における消毒・ 新型コロナウイルス感 染症における感染防 止対策(換気・管理者 の役割)・特殊詐欺被 害防止について

(8)その他特記すべき事項

なし

3 狂犬病予防・動物愛護管理

狂犬病予防法等関係法令に基づき、飼い犬登録、狂犬病予防注射済票の交付等の事務を実施した。狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律等関係法令に基づき、犬の捕獲、負傷動物の収容、飼い犬・飼い猫等の引取り及び苦情相談対応等を行った。

猫のみだりな繁殖に起因する生活環境被害等を低減させること等を目的に、飼い猫及び野良猫の避妊・去勢手術を行う市民を対象に手術費用の一部を助成するための補助金事業を実施した。また、猫に起因する住民間のトラブルを減少させ、地域住民が快適に生活できるようにすることを目的に、地域猫活動に取り組む地域を対象とした支援事業を実施した。

(1) 狂犬病予防

項目 年度	飼犬 登録頭数	新規登録頭数 (うち委託数)	注射済票交付件数 (うち委託数)	死亡届出数	転出届出数	転入届出数
令和3年度 (2021年度)	18,466	1,356(609)	10,007(7,031)	1,081	548	363
令和4年度 (2022年度)	17,711	1,256(581)	9,872(6,978)	928	544	439
令和5年度 (2023年度)	16,123	1,699(191)	9,784(7,072)	1,042	745	732

(2) 動物愛護管理

ア 犬に関する苦情相談件数

項目 年度	捕獲 依頼	負傷	引取り		行方 不明	譲渡	苦情				その他	計
			所有者から	所有者不明			環境被害	放飼い	遺棄虐待	咬傷事故		
令和3年度 (2021年度)	8	0	10	1	45	4	28	7	11	19	30	163
令和4年度 (2022年度)	7	0	13	0	35	12	51	21	11	29	27	206
令和5年度 (2023年度)	3	0	23	2	38	18	44	7	5	37	24	201

イ 猫に関する苦情相談件数

項目 年度	負傷	引取り		行方不明	譲渡	苦情				地域猫	その他	計
		所有者から	所有者不明			環境被害	放飼い	遺棄虐待	咬傷事故			
令和3年度 (2021年度)	14	13	15	89	11	170	2	9	0		58	381
令和4年度 (2022年度)	18	23	20	87	44	225	2	5	0	107	89	620
令和5年度 (2023年度)	11	24	20	84	23	144	0	10	0	69	76	461

※地域猫の相談件数は地域猫活動支援事業が始まった令和4年度(2022年度)以降の実績を掲載

ウ その他動物に関する苦情相談件数

項目 年度	負傷	行方不明	譲渡	苦情				その他	計
				環境被害	放 飼 い	遺棄虐待	咬傷事故		
令和3年度 (2021年度)	1	64	2	2	0	1	0	12	82
令和4年度 (2022年度)	0	43	0	3	0	2	0	16	64
令和5年度 (2023年度)	0	59	1	3	0	6	0	37	106

※譲渡の相談件数は譲渡事業が始まった令和3年度(2021年度)以降の実績を掲載

エ 犬の収容処分件数

項目 年度	収容					処分			
	捕獲	引取り	所有者不明引取り	負傷動物	計	返還	譲渡	殺処分	計
令和3年度 (2021年度)	5	4	0	0	9	5	3	0	8
令和4年度 (2022年度)	2	2	0	0	4	2	3	0	5
令和5年度 (2023年度)	2	3	0	0	5	2	2	0	4

※収容数と処分数の合計は年度繰り越しがあるため一致しない

オ 猫の収容処分件数

項目 年度	収容					処分			
	引取り	所有者不明引取り	負傷動物	収容後出生	計	返還	譲渡	殺処分	計
令和3年度 (2021年度)	6	6	12	0	24	0	10	14	24
令和4年度 (2022年度)	25	7	5	2	39	1	23	15	39
令和5年度 (2023年度)	3	0	6	0	9	0	6	2	8

※収容数と処分数の合計は年度繰り越しがあるため一致しない

※殺処分の項目は自然死を含む

(3) 飼い猫等の避妊・去勢手術費補助金の交付

項目 年度	実績件数					
	予算額	支出額	野良猫 (5,000円)	飼い猫 (2,500円)	総数	取消・辞退
令和3年度 (2021年度)	1,000,000	660,000	69	126	195	25
令和4年度 (2022年度)	1,000,000	605,000	67	108	175	36
令和5年度 (2023年度)	1,000,000	560,000	56	112	168	18

(4) 地域猫活動支援事業における団体登録及び避妊・去勢手術費補助金の交付

項目 年度	登録団体数	避妊・去勢手術等補助金交付件数
令和4年度 (2022年度)	8団体	8匹分
令和5年度 (2023年度)	13団体	54匹分

地 域 保 健 課 事 務 概 要

地域保健課の業務は、結核、感染症、精神保健、難病、特定不妊治療医療費助成など多岐にわたり、地域住民の健康の保持・増進、疾病の予防に努めた。

1 結核予防(根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

(1) 健診及び相談業務

ア 接触者健康診断

区 分		実施延べ 人員		ツベルク リン反応		喀痰検査		QFT 検査		直接撮影		発見患者	潜在性結核感染症
		保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託		
令和3年度 (2021 年度)		215	15	0	1	6	1	153	12	112	17	1	4
令和4年度 (2022 年度)		68	14	0	0	2	0	34	10	43	14	0	2
令和5年度 (2023 年度)		177	20	0	0	2	0	121	12	54	6	2	4
接 触 者 健 診	コッホ現象 陽転児	0								0		0	0
	患者家族	88	11	0	0	0	0	46	9	42	2	1	2
	患者接触者	89	9	0	0	2	0	75	3	12	4	1	2

イ 管内結核定期健康診断

項 目		令 和 3 年 度 (2021 年度)	令 和 4 年 度 (2022 年度)	令和5年度(2023 年度)					
				事 業 者	学 校 長	施 設 の 長	市 町 村 長		計
							乳 幼 児	そ の 他	
B C G 接 種 数		2,939	2,802	0	0	0	2,973	0	2,973
間 接 撮 影 者 数		4,060	3,199	747	163	46	0	0	956
直 接 撮 影 者 数		55,671	51,807	21,677	9,085	573	0	25,588	56,923
要 精 密 検 査		155	198	114	11	9	0	66	200
発 見 患 者	結核患者	2	0	0	0	0	0	1	0
	結核発症の恐れ があるもの(※)	2	0	0	0	0	0	0	0

(※) 定期的に医師の観察指導を必要とするもの

(2) 結核患者管理

ア 新登録患者数(罹患率)、塗抹陽性罹患率、年末現在活動性結核患者数(有病率)の推移

	新登録患者		喀痰塗抹陽性患者		年末現在活動性結核患者	
	患者数	罹患率	患者数	喀痰塗抹 罹患率	患者数	有病率
令和元年(2019 年)	47	12.3	15	3.9	29	7.6
令和2年(2020 年)	42	10.9	17	4.4	24	6.2
令和3年(2021 年)	32	8.2	17	4.4	31	8.0
令和4年(2022 年)	32	8.2	12	3.3	25	6.4
令和5年(2023 年)※	33	8.6	16	3.8	23	5.9

※速報値のため、集計により数値が変動する場合がある。

$$\text{○罹患率(人口 10 万対)} = \frac{\text{新登録結核患者数}}{\text{人口(各年 10 月 1 日推計人口)}} \times 10 \text{ 万}$$

$$\text{○有病率(人口 10 万対)} = \frac{\text{年末現在活動性結核患者数}}{\text{人口(各年 10 月 1 日推計人口)}} \times 10 \text{ 万}$$

イ 登録患者の状況

(ア) 登録時総合患者分類コード別、年齢階級別新登録者数(令和 5 年(2023 年)末の状況)

区 分	活 動 性 結 核				肺 外 結 核 活 動 性	計	潜在性 結核 感染症 (別 掲)	非結核性 抗酸菌 陽性 (別 掲)
	肺 結 核 活 動 性			登 録 時 菌 陰 性 ・その他				
	登録時喀痰塗抹陽性		登 録 時 その他の 菌 陽 性					
	初 回 治 療	再治療						
0 ～ 4歳	0	0	0	0	0	0	1	0
5 ～ 9歳	0	0	0	0	0	0	0	0
10 ～ 14 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
15 ～ 19 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
20 ～ 29 歳	0	0	1	1	0	2	0	0
30 ～ 39 歳	0	0	0	0	0	0	0	0
40 ～ 49 歳	0	0	2	1	0	3	1	0
50 ～ 59 歳	0	0	3	0	2	5	1	0
60 ～ 69 歳	0	0	0	0	0	0	3	0
70 歳 ～	16	0	3	0	4	23	6	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0
計	16	0	9	2	6	33	12	0

(イ) 活動性分類別受療状況別登録者数 (令和 5 年(2023 年)末の状況)

区 分	活 動 性 結 核					不活動性結核	活動性不明	計	潜在性結核感染症(別掲)	非結核性抗酸菌陽性(別掲)
	肺 結 核 活 動 性				肺 外 結 核 活 動 性					
	登録時喀痰塗抹陽性		登 録 時 その他の 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 ・その他						
	初回治療	再 治 療								
入 院	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0
通 院	2	0	8	1	4	0	0	15	9	0
医療なし	0	0	2	0	0	50	8	60	11	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
計	7	0	10	1	4	50	8	80	22	0

(ウ)管理健診実施状況(令和5年度(2023年度))

対 象 数	受 診 者 数				勧奨に対する受診率(%)
	保 健 所	委 託 機 関	そ の 他	計	
125	45	25	52	122	97.6

(エ)医療費公費負担状況(結核のみ)

区 分		令 和 3 年 度 (2021 年度)		令 和 4 年 度 (2022 年度)		令 和 5 年 度 (2023 年度)	
		件 数	申請に対する比(%)	件 数	申請に対する比(%)	件 数	申請に対する比(%)
通院患者 (37 条 の 2)	申 請	60		58		60	
	合 格	※2 59	98.3	58	100	60	100
	公費負担承認	59		58		60	
入院勧告 (37 条)	申 請	59		41		54	
	合 格	59	100	41	100	54	100
感染症診査協議会開催回数 (下記 FAX 診査回数は含めない)		24 回 (毎月第2・第4 火曜日)		24 回 (毎月第2・第4 火曜日)		24 回 (毎月第2・第4 火曜日)	
F A X 診 査 (※ 1) 回 数		18 回		10 回		17 回	

※1 法第 20 条に基づく入院延長の適否について、簡易な方法で協議会へ意見聴取を行うもの

※2 不合格の患者は、申請治療薬剤が適切ではなかったため、現在、定期的な喀痰検査の実施を行い経過観察中

(附 表) 吹田市感染症診査協議会 委員名簿

令和6年(2024年)3月31日現在

氏 名	役 職 名
阿部 欣也	会 長 市立豊中病院内科部長兼感染対策室長
大谷 安司	副会長 市立池田病院 呼吸器内科部長
藤川 健弥	委員 (独法)兵庫中央病院 内科医長
島 純子	委員 (一社)箕面市医師会 理事
宇治田 尚子	委員 元大阪府藤井寺保健所保健補佐
森田 理恵	委員 日本経済大学 商学部 准教授

(オ) 結核患者への訪問指導等

	訪問指導		相談	
	件数(実)	件数(延)	電話(延)	来所(延)
令和3年度(2021年度)	75	309	363	38
令和4年度(2022年度)	66	260	473	110
令和5年度(2023年度)	108	211	511	149

(カ) 他機関との連携会議(結核コホート検討会・DOTS 会議)

開催会議	内容	開催回数
結核患者治療成績 評価検討会 (コホート検討会)	結核患者の治療成績や支援経過を振り返り、DOTSの実 施方法及び患者支援の評価、地域の結核対策について 検討する会議 外部評価者(大阪はびきの医療センター・市立吹田市民 病院・大阪健康安全基盤研究所)	4回 (令和5年5、8、11月、 令和6年2月)
DOTS 会議	治療中の結核患者を対象に、地域での服薬支援につい て検討する保健所と医療機関との連携会議	9回

※DOTS:結核医療における直接服薬確認療法

(キ) 感染症に関する研修会等

事業名	開催日時	講演テーマ	参加者
結核対策医療機関講習会 (一社)吹田市医師会共催 事業	令和6年 (2024年) 2月1日	「結核に関する最近の知見と今後の展望」 講師:地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 感染症内科 診療主任 新井 剛 医師	82人

2 感染症予防(根拠法令 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

(1) 一類感染症～五類感染症患者の発生状況

疾 病 名		医師からの届出受理件数		
		令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
一類感染症		0	0	0
二類感染症	結核	65	39	72
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4	4	0
	腸チフス	0	1	0
四類感染症	デング熱	0	0	2
	レジオネラ症	5	9	7
五類感染症	アメーバ赤痢	5	3	1
	ウイルス性肝炎	1	1	0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	20	19	16
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	1	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	4	4
	後天性免疫不全症候群	3	1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	0	2
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	9	17
	梅毒	32	60	38
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	1
	百日咳	0	1	4
	風しん	0	0	0
	麻しん	0	0	1
合計		150	153	167

※新型コロナウイルス感染症の届出数は除く。発生届は最寄りの保健所へ提出となっているため受理件数は他市民を含む。

(2) 入院勧告及び措置等の状況(令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日)
(新型コロナウイルス感染症は除く)

入院勧告件数		入院措置件数		就業制限通知件数
応急入院	本入院	応急入院	本入院	
17	17	0	0	21

(3) 患者同行者・接触者等への疫学調査・相談指導状況

疾 病 名	接触者等 人 数	健康診断 勧告件数	健康診断 措置件数	検体 採取数	陽 性 数	相談指導 (延回数)
一類感染症	0	0	0	0	0	0
二類感染症(結核は除く)	0	0	0	0	0	0
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1	1	0	0	0	1
四類感染症	0	0	0	0	0	29
五類感染症(相談含む)	0	0	0	0	0	95

(4) その他感染症対応(訪問、相談件数)

相 談 件 数	
訪問(延べ)	電話(延べ)
26	287

3 性感染症予防(根拠法令:感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)

(1) 血液検査実施状況

ア HIV・AIDS相談及びHIV抗原抗体検査

区 分	相 談 件 数		血 液 検 査 数
	電 話	来 所	
令和3年度(2021年度)	12	0	56
令和4年度(2022年度)	8	1	117
令和5年度(2023年度)	10	3	131

イ クラミジア同定DNA抗体検査

区 分	血液検査数	陽性者数	陽 性 率 (%)
令和3年度(2021年度)	56	3	5.3
令和4年度(2022年度)	117	5	4.2
令和5年度(2023年度)	131	5	3.8

ウ 梅毒血清反応検査

対 象	令和3年度(2021年度)			令和4年度(2022年度)			令和5年度(2023年度)		
	血 液 検 査 数	陽 性 者 数	陽 性 率 (%)	血 液 検 査 数	陽 性 者 数	陽 性 率 (%)	血 液 検 査 数	陽 性 者 数	陽 性 率 (%)
計	56	0	0	117	5	4.2	131	3	2.3

4 生活習慣病予防（根拠法令:地域保健法）

(1)肝炎・肝がん対策

ア 肝炎インターフェロン・インターフェロンフリー治療医療費助成件数

令和3年 度(2021 年度) 合計	令和4年 度(2022 年度) 合計	令和5年度(2023 年度)					
		新規 申請	2回目 申 請	変更 申請	転入 申請	2か月 延長申請	6か月 延長申請
27	18	9	0	0	0	0	0
		受給者証 の返却	返戻書類 の再送付	再交付 願い、	取下げ 願い、	その他	
		0	0	0	0	0	

イ 肝炎核酸アナログ製剤治療医療費助成件数

令和3年 度(2021 年度) 合計	令和4年 度(2022 年度) 合計	令和5年度(2023 年度)								
		新規 申請	更新 申請	変更 申請	転 入 申 請	受給者証 の返却	返戻書 類の再 送付	再交付 願い、	取下げ 願い、	その他
274	291	12	251	2	1	0	0	1	0	0

5 精神保健

(1) 措置診察

ア 精神保健指定医による措置診察状況

区 分	令和3年度 (2021 年度)		令和4年度 (2022 年度)		令和5年度 (2023 年度)	
	申請又は 通報件数	措置入院 となった 数	申請又は 通報件数	措置入院 となった 数	申請又は 通報件数	措置入院 となった 数
診察及び保護の申請によるもの	1	0	1	0	0	0
警 察 官 の 通 報 に よ る も の	3	3	8	6	6	4
精神科病院の管理者の届出によるもの	0	0	0	0	0	0
医療観察法の規定による指定通院 医療機関の管理者及び保護観察所 の長からの通報によるもの	0	0	0	0	0	0

イ 措置入院者等退院後支援事業

事 業	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	備 考
措置入院者等退院後支援事業件数	1	0	0	措置入院者等に対して、本人の同意に基づいて入院中から支援を実施

(2) 実地指導

事 業	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)	備 考
精神科病院実地指導件数	2	3	2	大阪大学医学部附属病院、 榎坂病院

(3) 精神保健相談、訪問指導及び集団指導

ア 精神保健相談、訪問指導

区 分	令和3年度 (2021 年度) 相談件数	令和4年度 (2022 年度) 相談件数	令和 5 年度(2023 年度)				
			相談 件数	職種(重複あり)			
				精神保健 福祉相談員	医師	臨床心理	保健師
相 談 実 人 員	497	394	417				
相 談 延 件 数 ①	3,153	2,672	2,827	1,992	121	61	821
(別掲) 電話・ メール相談 ※ ②	852	738	740				
訪 問 実 人 員	104	65	84				
訪 問 延 件 数 ③	215	166	255	226	13	0	45
支 援 延 件 数 ① + ② + ③	4,220	3,576	3, 822				

※「匿名での電話相談」等、継続支援には至らなかった電話やメール相談、他機関からの相談件数(令和2 年度分より計上)。

イ 集団指導

対 象	実施回数	参加数	備 考
精神保健福祉家族教室	0	0 人	R5 年度(2023 年度)は開催なし
精神保健福祉関係機関職員研修	4	72 機関	地域包括支援センター職員向け研修会等
アルコール教室	1	108 人	大和大学学生を対象に実施
依存症地域支援ネットワーク強化事業	2	70 人	関係機関の職員を対象に実施

ウ 各種会議

対 象	回数等	備 考
吹田市精神障がいにも対応した 地域包括ケアシステム	事務局会議 7回 事例検討会議 1回 院内茶話会協議 1 回 本会議 2回	障がい福祉室と共催
豊能精神医療懇話会	1回	豊中市保健所、大阪府池田保健所と共催

エ その他の精神保健活動

区 分	内 容（主題、実施方法）
普及啓発 （共催事業含む）	・アルコール関連問題啓発週間における市役所ロビーパネル展示(吹田市断酒会と共催) ・断酒を考える会の開催(吹田市断酒会と共催) ・市報すいたや保健所ホームページ、吹田市公式 Twitter 等の SNS を活用した情報発信 ・市内各大学のイントラネットを活用した情報発信 ・ハートふれあいまつり(障がい福祉室等と共催)における啓発
地域関係機関との連携	・心神喪失者等医療観察法ケア会議 ・精神保健福祉関連業務説明会 ・北ブロック保健所精神保健業務検討会議 ・吹田市生活困窮者自立支援連絡調整会議 ・吹田市子ども・若者支援連絡協議会 ・吹田市DVネットワーク会議 ・多重債務問題庁内会議 ・吹田市子供の貧困対策に関するワーキングチーム会議 ・ひきこもりの方に対する相談支援の検討部会
関連事務	・医療保護入院に係る市長同意関連事務 ・精神科病院における各種入退院届進達事務 ・自動車税に係る生計同一証明発行事務

(4) 自殺対策事業

ア 関係会議・啓発等

事業名	回数等	構成員等
吹田市自殺対策推進庁内会議	3回	〈構成員〉庁内 14 部局の部長
吹田市自殺対策推進庁内会議 計画策定・推進作業部会	3回	〈構成員〉庁内 19 室課の室課長級 ※計画策定年のため、実務担当者会議ではなく、計画策定・推進作業部会を実施。
吹田市自殺対策推進懇談会	3回	〈構成員〉あかり法律事務所、吹田市医師会、吹田市薬剤師会、吹田市社会福祉協議会、吹田市民生・児童委員協議会、大阪府こころの健康総合センター、公募市民
関係機関連絡会議等	3回	〈構成員〉 ①警察・消防・医師会・市内救急告示病院 ②市内 5 大学 ③市内 8 高校
自殺未遂者相談支援事業 事例検討会議	3回	〈講師〉千里山みどりクリニック河原医師 〈参加者〉地域保健課職員
メンタルヘルス市民講演会	1回	〈講師〉稲田クリニック 稲田医師 〈参加者〉24 名
ゲートキーパー研修等	4回 (各回の対象者、人数は 右記のとおり)	①〈講師〉関西福祉科学大学 都村教授 〈参加者〉市職員 46 人 ②〈講師〉大阪医科薬科大学 藤本医師 〈参加者〉市内小・中学校教員等 52 名 ③吹田市社会福祉協議会・市職員 13 人 ④吹田市社会福祉協議会・市職員他 16 人
市役所ロビーパネル展示	令和5年(2023 年)9月8 ～15 日、令和6(2024 年)年3月 1～8日	〈内容〉啓発パネルの展示及びリーフレット配架等
啓発リーフレット作成		〈タイトル〉①「こころの健康相談」 ②「思春期のあなたへ こころのお天気はどうですか？」 ③「見逃さないでこころのサイン」 ④「こころのストレスチェックしてみませんか？」 (こころの体温計啓発)
こころの体温計		アクセス数(月平均) 3,219 回

イ 自殺未遂者支援事業等実施状況

区 分	令和3年度 (2021 年度) 相 談 延 件 数	令和4年度 (2022 年度) 相 談 延 件 数	令和5年度 (2023 年度) 相 談 延 件 数
自殺未遂者相談支援事業	398	431	389

6 難病対策(根拠法令 難病の患者に対する医療等に関する法律)

(1) 在宅難病患者個別支援

ア 指定難病に係る医療給付申請受付及び個別支援

年度		申請受付状況		個別援助実施状況				
		新規 受付	更新 受付	面接 件数	訪問 件数	電話等 件数	他機関 連絡 件数	ケース 会議 件数
令和3年度(2021 年度)計		534	2,866	576	304	1,049	1,282	38
令和4年度(2022 年度)計		668	2,973	696	250	735	744	24
令和5年度(2023 年度)計		628	3,122	672	371	849	785	32
疾 患 群	神経・筋疾患	210	908	258	341	591	676	23
	血液系疾患	27	104	21	1	9	1	0
	免疫系疾患	128	665	112	3	60	8	4
	内分泌系疾患	9	78	13	6	41	10	1
	代謝系疾患	9	42	11	4	18	13	0
	循環器系疾患	10	96	11	1	3	0	0
	呼吸器系疾患	31	99	27	8	38	31	0
	消化器系疾患	101	749	98	4	33	4	1
	皮膚・結合組織疾患	20	58	35	2	18	27	2
	骨・関節系疾患	30	114	35	1	9	2	0
	腎・泌尿器系疾患	51	142	43	0	20	10	1
	染色体又は遺伝子に変化を 伴う症候群	0	3	0	0	0	0	0
	視覚・聴覚平行機能・耳鼻 科系疾患	2	64	8	0	9	3	0

イ その他、難病に係る個別支援

面接件数	訪問件数	電話等件数	他機関連絡件 数	その他	計
5	1	32	22	8	68

※指定難病に係る医療給付申請前の相談等

ウ 特定疾患に係る医療給付申請受付及び個別支援

疾 患	新規受付	更新受付	相談件数	訪問件数
スモン、難治性肝炎のうち劇症肝炎 急性重症膵炎、プリオン病※	0	0	0	1

※ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)が対象

エ 専門相談

職 種	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
	訪問延件数	訪問延件数	訪問延件数
理 学 療 法 士	1	2	1
作 業 療 法 士	2	1	3
言 語 聴 覚 士	2	3	3
臨 床 心 理 士		2	1
合 計	5	8	8

オ 就労相談会

	保健所実施	市立吹田市民病院実施
令和3年度(2021年度)	9	中止※
令和4年度(2022年度)	10	3
令和5年度(2023年度)	10	1

※令和3年度(2021年度)は新型コロナウイルス感染症の影響で中止

(2) 集団支援

ア 医療講演会

動画配信による講演会を実施。動画視聴環境にない方向けに集合視聴会も別途開催。

対 象 疾 患	開催回数	視聴延人員	備 考 (内 容 等)
特発性間質性肺炎	1	1,046	呼吸器疾患看護認定看護師による疾患と療養生活についての講義
もやもや病	1	403	専門医による疾患と療養生活についての講義

イ 関係機関向け講演会

動画配信による講演会を実施。

対 象 疾 患	開催回数	視聴延人員	備 考 (内 容 等)
パーキンソン病 障がい者福祉サービス	1	270	専門医による疾患と支援についての講義 市担当職員による支援サービスの説明

(3) 関係者会議等

会 議 名	参加機関	開催日	備 考(内容等)
大阪北部地域神経筋難病ネットワーク会議	大阪府池田保健所、吹田市保健所、地域医師会(事務局)豊中市保健所、大阪刀根山医療センター	<会議> 令和5年(2023年)11月9日	「神経筋難病患者の災害対策」災害に対する意識調査(中間報告)、各保健所における災害対策、意見交換
		<研修会> 令和6年(2024年)3月9日	「神経筋難病患者の災害対策」災害対策に関する講演、災害に対する意識調査報告、意見交換
北ブロック保健所難病担当者的会議	大阪府池田・茨木保健所、高槻市・豊中市保健所(事務局)吹田市保健所	令和5年(2023年)6月22日	令和4年度事業報告、災害時支援対策、就労相談会等、難病支援に関する取組状況報告、意見交換
		令和6年(2024年)3月15日	令和5年度難病に関する取組状況等進捗報告、令和6年度計画、意見交換
市立吹田市民病院との難病支援に関する連携会議	市立吹田市民病院 吹田市保健所	令和5年(2023年)7月31日	保健所における指定難病の申請・支援等取組状況、災害時支援対策報告 吹田市民病院の難病に関する取組報告
		令和6年(2024年)3月11日	吹田市民病院・保健所合同の外部バッテリー充電訓練の実施報告、事例報告、吹田市民病院の難病に関する取組報告

7 放射線業務

(1) 保健所におけるエックス線撮影

接触者健康診断は、感染症法第17条及び府の結核健診方針の趣旨を踏まえ所内及び所外で胸部エックス線撮影を行っている。

ア 所内のエックス線撮影件数

区分	所内						
	開催回数	撮影件数					
		管理	家族	接触者等	集団発生(再掲)	施設利用等 その他	合計
令和3年度 (2021年度)	47	64	49	54	(0)	0	167
令和4年度 (2022年度)	38	51	29	12	(0)	0	92
令和5年度 (2023年度)	37	40	42	12	(0)	0	94
定 例	31	36	42	10	(0)	0	88
定例外	6	4	0	2	(0)	0	6

イ 所外のエックス線撮影件数

区分	所外(検診車による委託検診)						
	開催 回数	撮影件数					
		管理	家族	接触者等	集団発生 (再掲)	その他	合計
令和3年度 (2021年度)	1	0	0	24	(0)	0	0
令和4年度 (2022年度)	0	0	0	0	(0)	0	0
令和5年度 (2023年度)	0	0	0	0	(0)	0	0
定 例	0	0	0	0	(0)	0	0
定例外	0	0	0	0	(0)	0	0

(2) 医療放射線管理業務

医療法第25条第1項及び立入検査要綱に基づき病院等の立入検査を実施し、適切な医療放射線管理の確保に努めた。

ア 立入検査(医療監視)

区 分	病 院	透析 診療所	療養病床 診療所	有床 診療所	他診療所	歯科 診療所
令和3年度(2021年度)	11	0	0	0	0	0
令和4年度(2022年度)	15	2	0	0	0	0
令和5年度(2023年度)	15	0	0	1	0	0
定例立入検査	15	0	0	1	0	0
定例外(臨時)立入検査	0	0	0	0	0	0

イ 医療法に基づく許可・届出収受

区 分	X線装置	治療装置	密封線源治 療	同位元素	治験薬等
令和3年度(2021年度)	104	0	1	8	0
令和4年度(2022年度)	95	1	0	7	0
令和5年度(2023年度)	110	0	0	7	0
放射線診療装置の許可申請	11	0	0	1	0
放射線診療装置の届出	99	0	0	6	0

ウ 放射線関連相談業務

区 分	被ばく相談	施設(設備)相談	その他
令和3年度(2021年度)	5	17	0
令和4年度(2022年度)	5	13	0
令和5年度(2023年度)	3	18	0

8 予防接種

(1) 予防接種事業(予防接種法に基づくA類疾病の定期接種)

人から人に伝染することによるその発生及びまん延を予防するため、又はかかった場合の病状の程度が重篤になり、若しくは重篤になるおそれがあることからその発生及びまん延を予防するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾患。集団予防に重点を置き実施。接種の努力義務あり。

ア 時 期 通年実施

イ 方 法 個別接種

ウ 費 用 無料

エ 実施場所 市内予防接種協力医療機関

オ 実 績

(単位:人・%)

年 度		令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
種 類				
1価ロタウイルス ワクチン	対 象 者	3,518	3,666	3,002
	被 接 種 者	3,425	3,635	2,943
	(再掲)他市で接種	288	258	296
	接 種 率	97.4	99.2	98.0
	委 託 料 件 数	3,683	3,792	3,024
	(再掲)他市民	546	415	377
5価ロタウイルス ワクチン	対 象 者	3,771	3,330	4,173
	被 接 種 者	3,651	3,302	4,105
	(再掲)他市で接種	235	199	179
	接 種 率	96.8	99.2	98.4
	委 託 料 件 数	3,702	3,716	4,526
	(再掲)他市民	286	613	600
Hib(ヒブ)ワクチン	対 象 者	12,265	12,004	11,712
	被 接 種 者	12,061	11,915	11,733
	(再掲)他市で接種	792	678	711
	接 種 率	98.3	99.3	100.2
	委 託 料 件 数	12,965	12,946	12,653
	(再掲)他市民	1,696	1,709	1,631
小児肺炎球菌 ワクチン	対 象 者	12,265	12,004	11,712
	被 接 種 者	12,037	11,926	11,711
	(再掲)他市で接種	793	679	712
	接 種 率	98.1	99.4	100.0
	委 託 料 件 数	12,929	12,957	12,628
	(再掲)他市民	1,685	1,710	1,629

種 類 \ 年 度		令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
B 型肝炎ワクチン	対 象 者	9,048	8,829	8,676
	被 接 種 者	8,908	8,806	8,726
	(再掲)他市で接種	627	524	570
	接 種 率	98.5	99.7	100.6
	委 託 料 件 数	9,566	9,535	9,345
	(再掲)他市民	1,285	1,253	1,189
BCGワクチン	対 象 者	3,016	2,943	2,892
	被 接 種 者	2,894	2,965	2,973
	(再掲)他市で接種	133	110	114
	接 種 率	96.0	100.7	102.8
	委 託 料 件 数	3,147	3,160	3,147
	(再掲)他市民	386	305	288
4種混合ワクチン (DPT-IPV)	対 象 者	12,265	12,004	11,712
	被 接 種 者	11,944	11,919	12,451
	(再掲)他市で接種	723	603	744
	接 種 率	97.4	99.3	106.3
	委 託 料 件 数	12,895	13,024	13,444
	(再掲)他市民	1,674	1,708	1,737
ジフテリア・破傷風混 (DT)ワクチン	対 象 者	3,669	3,483	3,652
	被 接 種 者	2,833	2,668	2,994
	(再掲)他市で接種	93	92	125
	接 種 率	77.2	76.6	82.0
	委 託 料 件 数	2,826	2,683	2,958
	(再掲)他市民	86	107	89
麻しん・風しん混合 (MR)ワクチン1期	対 象 者	3,217	3,175	3,036
	被 接 種 者	3,137	3,036	2,997
	(再掲)他市で接種	154	135	118
	接 種 率	97.5	95.6	98.7
	委 託 料 件 数	3,377	3,370	3,321
	(再掲)他市民	394	469	442

種 類	年 度		令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
	対 象 者				
麻しん・風しん混合 (MR)ワクチン2期	被 接 種 者		3,768	3,609	3,506
	(再掲)他市で接種		3,571	3,402	3,341
			193	168	164
	接 種 率		94.8	94.3	95.3
	委 託 料 件 数		3,670	3,536	3,500
	(再掲)他市民		292	302	323
水痘(水ぼうそう) ワクチン	対 象 者		6,428	6,407	6,241
	被 接 種 者		6,025	5,794	5,852
	(再掲)他市で接種		329	267	243
	接 種 率		93.7	90.4	93.8
	委 託 料 件 数		6,444	6,397	6,484
	(再掲)他市民		748	870	875
日本脳炎ワクチン1期	対 象 者		10,272	9,836	9,799
	被 接 種 者		7,163	11,110	10,072
	(再掲)他市で接種		525	475	421
	接 種 率		69.7	113.0	102.8
	委 託 料 件 数		7,554	12,125	11,032
	(再掲)他市民		916	1,490	1381
日本脳炎ワクチン2期	対 象 者		3,741	3,640	3,620
	被 接 種 者		1,201	4,045	3,721
	(再掲)他市で接種		91	180	153
	接 種 率		32.1	111.1	102.8
	委 託 料 件 数		1,163	4,078	3,719
	(再掲)他市民		53	213	151
HPVワクチン	対 象 者		5,211	5,292	5,037
	被 接 種 者		2,595	5,359	5,745
	(再掲)他市で接種		58	345	203
	接 種 率		49.8	101.3	114.1
	委 託 料 件 数		2,578	5,237	5789
	(再掲)他市民		41	223	247

- * 令和4年度(2020 年度)からは、HPVワクチンの被接種者数にキャッチアップ接種を含んでいる。
- * 令和4年度(2022 年度)から、日本脳炎ワクチン1期の対象者について、他の予防接種対象者の算出方法に合わせて、標準的な接種年齢(3歳～5歳)の人数に接種回数を掛け合わせた数へ変更。それ以前の年度の対象者についても算出し直した
- * 令和3年度(2021 年度)は日本脳炎ワクチンの供給不足で接種が制限され、接種者数が減少した。

(2) 予防接種事業(予防接種法に基づくB類疾病の定期接種)

個人の発病またはその重症化を防止し、併せてこれによりそのまん延の予防に資するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾患。個人予防に重点を置き実施。接種の努力義務なし。

ア 対 象

種 類	対 象 年 齢 等
高齢者インフルエンザワクチン	①65歳以上で接種を希望する者 ②60歳以上65歳未満で心臓・じん臓・呼吸器の機能又は、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある者(身体障害者手帳1級を有する者)のうちで接種を希望する者
高齢者肺炎球菌ワクチン(※)	23価肺炎球菌ワクチンを既に受けた者は対象から除く ①65・70・75・80・85・90・95・100歳になる者で接種を希望する者 ②60歳以上65歳未満で心臓・じん臓・呼吸器の機能又は、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがある者(身体障害者手帳1級を有する者)のうちで接種を希望する者

(※) 高齢者肺炎球菌ワクチン対象者の特例措置

表中①は、平成26年度(2014 年度)から平成30年度(2018 年度)限り、また、101歳以上になる人を平成26年度(2014 年度)限りの経過措置として実施したが、平成31年(2019 年)3月20日に予防接種法施行令の一部を改正する政令が施行され、令和元年度(2019 年度)から令和5年度(2023 年度)までの間の時限措置として、引き続き、表中①、また、101歳以上になる者を令和元年度に限り対象として実施。

イ 時 期 (ア) 高齢者インフルエンザワクチン…10月1日～12月31日

(令和3年度(2021 年度)と令和4年度(2022 年度)は1月31日まで延長)

(イ) 高齢者肺炎球菌ワクチン…通年実施

ウ 方 法 個別接種

エ 費 用 (ア) 高齢者インフルエンザワクチン…1, 500円

(令和4年度は大阪府のインフルエンザワクチン定期接種緊急促進事業のため無償化)

(イ) 高齢者肺炎球菌ワクチン …2, 000円

* 生活保護世帯又は市民税非課税世帯、中国残留邦人等支援給付受給世帯の方は無料

オ 実施場所 市内予防接種協力医療機関

カ 実 績

(単位:人・%)

種 類 \ 年 度		令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
高齢者インフルエンザ [*] ワクチン	対 象 者	90,049	90,403	90,949
	被 接 種 者	52,574	59,092	52,642
	(再掲)他市で接種	5,484	5,451	5,037
	接 種 率	58.4	65.4	57.9
	委 託 料 件 数	48,193	56,977	50,712
	(再掲)他市民	3,251	3,336	3,107
高齢者肺炎球菌 ワクチン	対 象 者	12,221 (3,421)	13,400 (3,419)	13,394 (3,804)
	被 接 種 者	3,469 (1,851)	3,409 (1,724)	3,538 (1,465)
	(再掲)他市で接種	172	181	217
	接 種 率	28.4 (54.1)	25.4 (50.4)	26.4 (38.5)
	委 託 料 件 数	3,245	3,310	3,407
	(再掲)他市民	35	82	86

※()内は65歳の数

(3) 予防接種事業(予防接種法に基づく特例臨時接種:新型コロナワクチン)

ア 目的 新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図る。

イ 対象 生後6か月以上の者

ウ 接種対象者及び接種間隔等

	初回接種 (起源株)	令和5年(2023 年)春開始接種 (オミクロン株2価(BA.1、BA.4/5))	令和5年(2023 年)秋開始接種 (オミクロン株1価(XBB.1.5))
対 象 間 隔 回 数	12 歳以上の者 3週間の間隔で2回 ※モデルナは4週間の間隔 で2回	65 歳以上及び 12 歳以上の基 礎疾患を有する者及び医療 従事者等 前回接種時から3か月経過後 1回	12 歳以上の者 前回接種時から3か月経過後 1回
	5歳～11 歳の者 3週間の間隔で2回	5歳～11 歳の基礎疾患を有 する者 前回接種時から3か月経過後 1回	5歳～11 歳の者 前回接種時から3か月経過後 1回
	6 か月～4 歳の者 3週間の間隔で2回、 8週間の間隔で3回目 ※モデルナは4週間の間隔 で2回		6 か月～4 歳の者 前回接種時から3か月経過後 1回

エ 実施期間 令和3年(2021 年)2月17日～令和6年(2024 年)3月31日

(ア) 初回接種

16 歳以上…令和3年(2021 年)2月17日～令和6年(2024 年)3月31日

12 歳以上…令和3年(2021 年)6月1日～令和6年(2024 年)3月31日

小児… 令和4年(2022 年)2月21日～令和6年(2024 年)3月31日

乳幼児… 令和4年(2022 年)10月24日～令和6年(2024 年)3月31日

(イ) 追加接種

令和4年秋開始接種…令和4年(2022 年)9月20日～令和5年(2023 年)5月7日

令和5年春開始接種…令和5年(2023 年)5月8日～令和5年(2023 年)9月 19 日

令和5年秋開始接種…令和5年(2023 年)9月20日～令和6年(2024 年)3月 31 日

* 令和4年秋開始接種については、小児は令和5年(2023 年)9月 19 日まで接種可能。

オ ワクチン種別

	12歳以上	小児(5歳～11歳)	乳幼児(6か月～4歳)
ファイザー社製	mRNA ワクチン (起源株、 オミクロン株2価(BA.1、BA.4/5)、 オミクロン株1価(XBB.1.5))	mRNA ワクチン (起源株、 オミクロン株2価(BA.4/5)、 オミクロン株1価(XBB.1.5))	mRNA ワクチン (起源株、 オミクロン株1価(XBB.1.5))
モデルナ社製	mRNA ワクチン (起源株、 オミクロン株2価(BA.1、BA.4/5)、 オミクロン株1価(XBB.1.5))	mRNA ワクチン (オミクロン株1価 (XBB.1.5)) ※対象年齢は6歳から。	mRNA ワクチン (オミクロン株1価 (XBB.1.5)) ※対象年齢は5歳まで。 初回接種のみ対応。
武田社製	組替タンパクワクチン		
第一三共社製	mRNA ワクチン (オミクロン株1価(XBB.1.5))		

カ 方 法 個別接種(市内予防接種協力医療機関)
 集団接種(市内公共施設等、令和3年(2021 年)5月～令和4年(2022 年)8月)
 職域接種(市内大学、令和3年(2021 年)6月～令和4年(2022 年)5月)

キ 費 用 無料

ケ 実 績 (VRS 実績による)

(単位:人・%)

区 分 \ 年 度		令和2年度(2020 年度) ～ 令和3年度(2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
乳幼児 (6か月～4歳)	対象者	－	16,313	15,970
	1回目接種者	－	499	89
	接種率	－	3.1	0.6
	2回目接種者	－	469	89
	接種率	－	2.9	0.6
	3回目接種者	－	306	124
	接種率	－	1.9	0.8
	3回目接種者	－	－	147
	接種率	－	－	0.9
小児 (5歳～11歳)	対象者	25,589	25,603	25,561
	1回目接種者	1,176	1,775	39
	接種率	4.6	6.9	0.2
	2回目接種者	1	2,882	40
	接種率	0.0	11.3	0.2
	3回目接種者	－	1,045	137
	接種率	－	4.1	0.5
	4回目接種者	－	1	411
	接種率	－	0.0	1.6
	5回目接種者	－	－	156
	接種率	－	－	0.6
	6回目接種者	－	－	1
	接種率	－	－	0.0
12歳以上	対象者	334,660	336,865	339,707
	1回目接種者	293,732	2,010	350
	接種率	87.8	0.6	0.1
	2回目接種者	292,450	2,213	419
	接種率	87.4	0.7	0.1
	3回目接種者	147,974	85,730	4,351
	接種率	44.2	25.4	1.3
	4回目接種者	－	144,076	2,303
	接種率	－	42.8	0.7
	5回目接種者	－	72,497	22,116
	接種率	－	21.5	6.5
	6回目接種者	－	－	59,821
	接種率	－	－	17.6
	7回目接種者	－	－	41,273
	接種率	－	－	12.1

※ 対象者数は各前年度末時点人口

※ 接種者数は令和6年(2024年)3月31日時点のVRSデータから算出

(4) 風しんに関する追加的対策(風しん第5期定期接種)(根拠法令 予防接種法)

- ア 目的 風しんの発生状況等を踏まえ、風しんの感染拡大防止のための追加的対策として、これまでに公的接種機会がなく、抗体保有率の低い世代の男性を対象に、風しん抗体検査及び予防接種を実施する。
- イ 対象 昭和37年(1962年)4月2日から昭和54年(1979年)4月1日までの間に生まれた男性
- ウ 実施方法 市は、医療関係機関、事業者団体等と連携して、できる限り対象者の利便性の向上を図る。特定健康診査、事業所の定期健康診査等を利用して抗体検査を実施。抗体検査及び予防接種を全国において無料で受けられるように、対象者にクーポン券を送付。
- エ 実施期間 令和元年度(2019年度)～令和6年度(2024年度)
※ 令和4年(2022年)2月16日付の国からの通知で、実施期間が令和4年(2022年)4月1日から令和7年(2025年)3月31日まで延長された。
- オ 実績 クーポン券送付
令和3年度(2021年度)：対象者のうち、抗体検査未受検者及び予防接種未接種者(※)にはがきで再勧奨
令和4年度(2022年度)：対象者のうち、抗体検査未受検者にクーポン券を再送付
令和5年度(2023年度)：予防接種未接種者(※)にはがきで接種勧奨
(※) 予防接種未接種者:抗体検査の結果、抗体価が十分でないと判断されたが予防接種未接種の者

(単位:人)

区 分	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
クーポン・はがき送付数	41,005	37,370	442
抗体検査人数	2,085	2,212	559
予防接種人数	460	401	139

(5) 風しんワクチン等接種事業費補助事業(大阪府の補助を受け実施)

- ア 目的 風しん予防接種に係る費用の一部を公費助成することにより予防接種の促進に繋げ、出生児の先天性風しん症候群の発症防止を図る。
- イ 対象 妊娠を希望する女性及びその配偶者、妊娠している女性の配偶者のうち、風しん抗体検査の結果、十分な抗体価がなく予防接種が必要な人
- ウ 助成額 麻しん風しん混合ワクチン接種… 7,000円を上限に助成
風しん単独ワクチン接種… 4,500円を上限に助成
抗体検査については、全額公費負担(本人負担はなし)
- エ 方法 償還払い

オ 実 績

(単位:人)

区 分	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
抗体検査人数	904	953	1,154
助成人数	452	470	550

カ 備 考

平成25年度(2013 年度)は緊急風しん予防対策事業(単年度事業)として、19歳以上の市民のうち、妊娠を希望する女性及び妊娠している女性の配偶者を対象に実施。平成26年度(2014 年度)から平成30年度(2018 年度)の5年間、府の補助事業として実施。その後、平成30年度(2018 年度)の風しんの流行を受け、大阪府の補助事業として延長される。

(6) 造血細胞移植後定期予防接種ワクチン再接種費用補助事業(大阪府の補助を受けて実施)

ア 目 的 定期予防接種で得た免疫が造血細胞移植によって失われた場合の再接種費用を助成することで、疾病の発病及び感染症のまん延を防止するとともに、被接種者(保護者)の負担軽減を図る。大阪府の補助を受け実施。

イ 対 象

- (ア) 造血細胞移植によって移植前に接種した定期の予防接種ワクチンの免疫が低下又は消失したため、再接種が必要と医師が認める人
- (イ) 予防接種を受ける日において吹田市に住民登録がある 20 歳未満の人
- (ウ) 平成30年(2018 年)4月1日以降の再接種であること
- (エ) 接種済の定期接種の接種回数及び接種間隔が予防接種実施規則の規定によるものであること

ウ 内 容 移植前に接種した定期予防接種ワクチンの再接種に要した費用を助成する。

※助成金額には上限あり

エ 実 績

(単位:人・件)

区 分	令和3年度 (2021 年度)	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
助成実人数	3	4	4
助成延べ件数	6	5	5

(7) 任意インフルエンザワクチン接種費用助成事業

ア 目的 中学3年生は、インフルエンザへの感染により受験等の機会を逸失することで、その後の人生に大きな影響を及ぼすことから、感染予防に有効なインフルエンザワクチン接種を推奨し、ワクチン接種に係る自己負担の軽減のため、費用の一部を助成する。

イ 対象 中学3年生

ウ 助成額 2,000円(1回分のみ)

エ 実績

(単位:人)

区 分	令和4年度 (2022 年度)	令和5年度 (2023 年度)
助成券送付数	3,440	3,499
助成人数	1,486	1,473

(8) 予防接種業務の経緯

ア 令和3年度(2021 年度)

- (ア) HPVワクチン対象者の中学1年生から高校1年生相当の女子に情報提供としてリーフレットを送付する。(令和3年(2021 年)4月)
- (イ) 予防接種実施要領の改正(令和3年(2021 年)11月26日付)により、HPVワクチンの積極的勧奨が再開される3月末に令和4年度(2022 年度)の中学1年生から高校1年生相当の女子にリーフレット、予診票等を送付し個別勧奨を行う。
- (ウ) 高齢者インフルエンザワクチン接種については新型コロナワクチン接種が開始されていることにより、従来の実費徴収に戻す。(令和2年度は無償化していた。)

イ 令和4年度(2022 年度)

- (ア) 中学3年生を対象に、任意インフルエンザワクチン接種費用助成事業を開始する。
- (イ) 予防接種法施行令の改正(令和4年(2022 年)4月1日)により、HPVワクチンの積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に対して、HPV キャッチアップワクチン接種を令和7年(2025 年)3月末まで、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行うことになり、対象者(平成9年(1997 年)4月2日～平成18年(2006 年)4月1日生まれの女性)にリーフレット、予診票等を送付し個別勧奨を行う。
また対象者のうち、HPVワクチンの積極的勧奨の差控えにより、定期接種の対象年齢を過ぎてHPVワクチンを自費で接種した方に対して、当該任意接種の費用の償還払いを行う。(申請者108人)
- (ウ) 風しん第5期定期予防接種の実施期間が令和7年(2025 年)3月末まで延長されたため、対象者にクーポン券を再送付する。(令和4年(2022 年)6月)
- (エ) 新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの併発による重症化や医療体制のひっ迫を防止するため、大阪府が「インフルエンザワクチン定期接種緊急促進事業」を実施。高齢者インフルエンザワクチン接種を無償化し、定期接種率の向上を図る。

ウ 令和5年度(2023 年度)

- (ア) HPV 感染症の定期の予防接種において、9価ワクチンが使用可能となった。
- (イ) HPV ワクチンのキャッチアップ接種が令和6年度末で終了すること等を踏まえ、吹田市医師会や関係室課と連携し、市内大学のイントラネットや学園祭(千里金蘭大学)での出展、大阪大学が実施したセミナーの後援、市内中学校でのポスター掲示等の啓発・周知広報を実施した。
- (ウ) 新型コロナワクチンの特例臨時接種が令和6年3月31日で終了。令和6年度からは予防接種法に基づくB類疾病の定期接種として実施。
- (エ) 高齢者肺炎球菌ワクチンの65歳以上の方への接種機会を付与するための対象者拡大の経過措置が終了。

(9) 吹田市予防接種健康被害調査委員会(根拠法令 予防接種法)

ア 概 要

市長の諮問に応じ、予防接種法の規定により市長が実施した予防接種に起因する健康被害について調査審議し、答申する。なお、その結果は大阪府を経由して国へ進達される。

イ 開催状況

	開催 回数	会 議 内 容
令和3年度(2021年度)	1	予防接種による3件の健康被害について調査審議を行う。
令和4年度(2022 年度)	2	予防接種による6件の健康被害について調査審議を行う。
令和5年度(2023 年度)	3	予防接種による13件の健康被害について調査審議を行う。